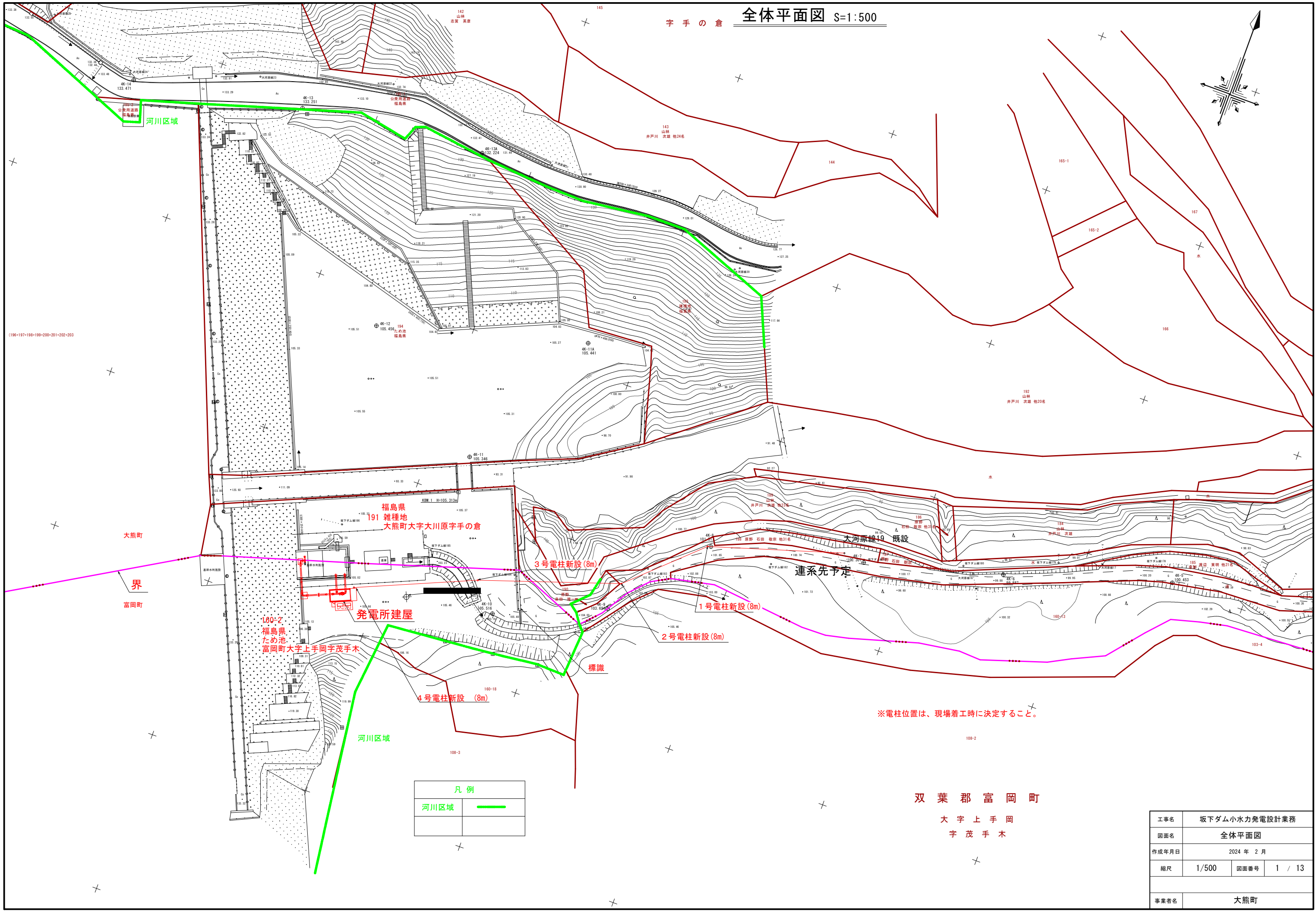
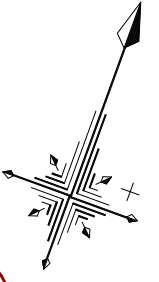


坂下ダム小水力発電新設工事 図 面 目 録

土 木			建 築			電 気		
番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺	番 号	図 面 名 称	縮 尺
C-01	全体平面図	1 : 500	A-01	特記仕様書 (1/4)	----	E-01	単線結線図(参考図)	----
C-02	水圧管, 放水管全体図(1/3)	1:50	A-02	特記仕様書 (2/4)	----	E-02	電気設備配置平面図	1:250
C-03	水圧管, 放水管全体図(2/3)	1:50	A-03	特記仕様書 (3/4)	----	E-03	電気施工平面図	1:30
C-04	水圧管, 放水管全体図(3/3)	1:50	A-04	特記仕様書 (4/4)	----	E-04	水車・発電機外形図(参考図)	1:10
C-05	固定台築造工	1:50	A-05	発電所建屋図(1/3)	1:30	E-05	入口弁・排出弁 電動バタフライバルブ・電磁流量計(参考図)	1:5 1:10
C-06	固定台配筋図(固定台1)	1:50	A-06	発電所建屋図(2/3)	1:25	E-06	電気盤外形図(参考図)	1:15
C-07	固定台配筋図(固定台2)	1:50	A-07	発電所建屋図(3/3)	1:20	E-07	門型クレーン 1ton用(参考図)	1:10
C-08	階段工・水車点検ステージ小型重力擁壁・コンクリート基礎(制御盤)	1:30 1:50	A-08	発電所建屋立面図	1:30			
C-09	建屋基礎部開口詳細図	1:20	A-09	発電機室一般図	1:30			
C-10	フェンス開口部詳細図・フェンス支柱詳細図	1:20	A-10	標識	----			
C-11	水圧管, 放水管姿図(1/2)	1:20						
C-12	水圧管, 放水管姿図(2/2)	1:20						
C-13	全体平面図	1:1,000						

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	図面目録		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	図面番号	/	
事業者名	大熊町		

字手の倉 全体平面図 S=1:500



大熊町
界
富岡町

100-2
福島県
ため池
富岡町大字上手岡字茂手木

福島県
191 雑種地
大熊町大字大川原字手の倉

凡例	
河川区域	—

※電柱位置は、現場着工時に決定すること。

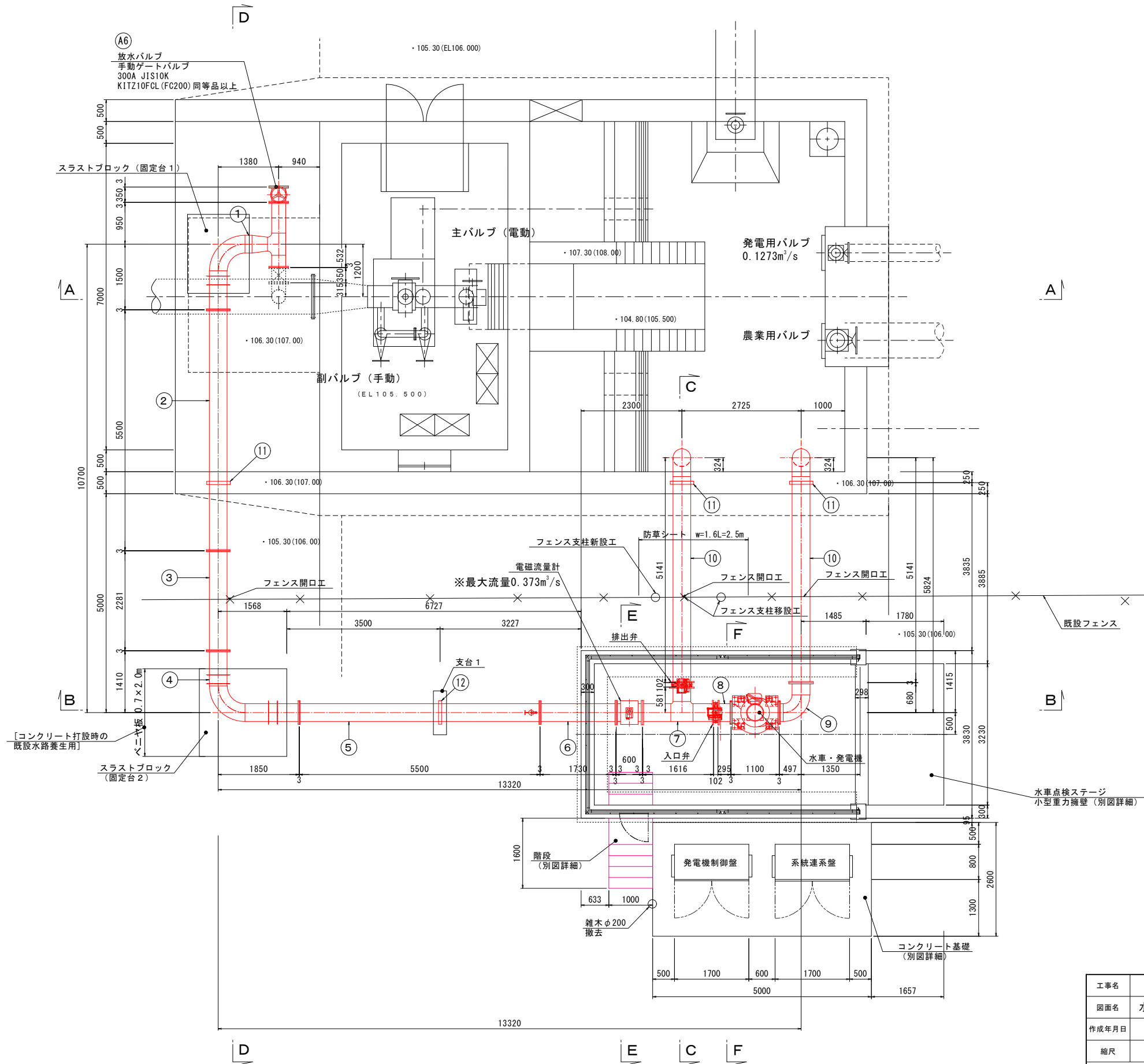
双葉郡富岡町
大字上手岡
字茂手木

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	全体平面図		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/500	図面番号	1 / 13
事業者名	大熊町		

水圧管，放水管全体図(1/3)

平面図 S=1:50

※()内数値は、竣工図の数値示す。



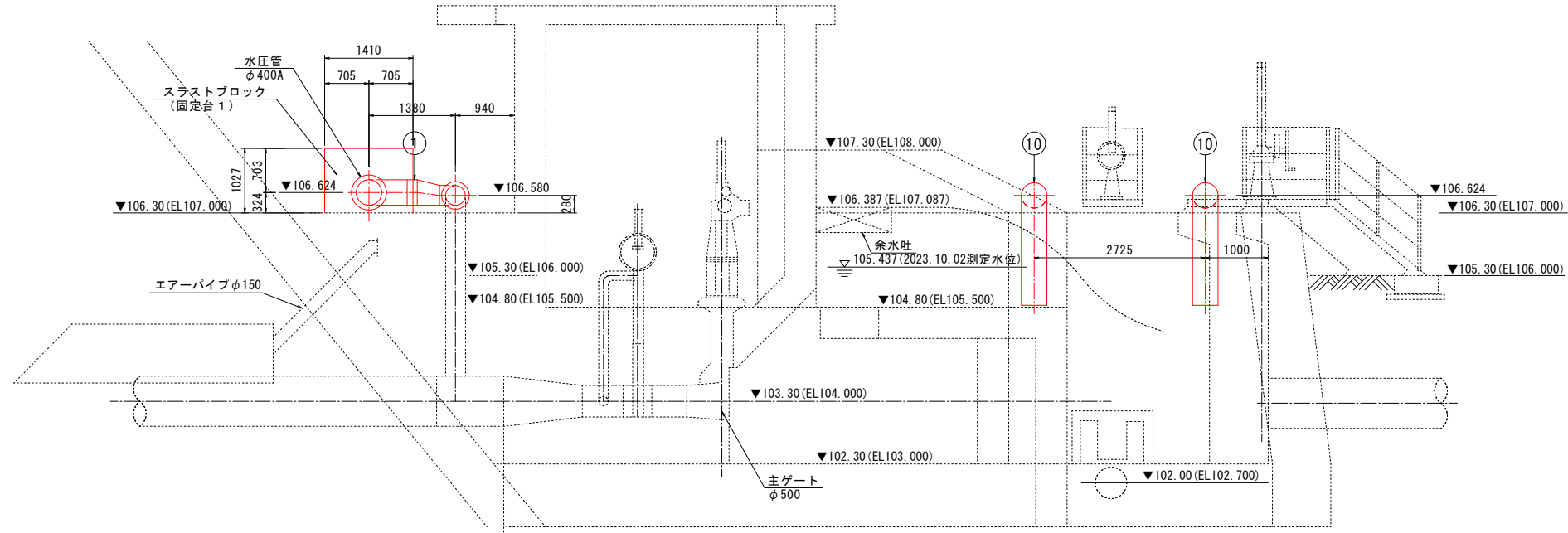
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水圧管，放水管全体図(1/3)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/50	図面番号	2 / 13
事業者名	大熊町		

水圧管, 放水管全体図(2/3)

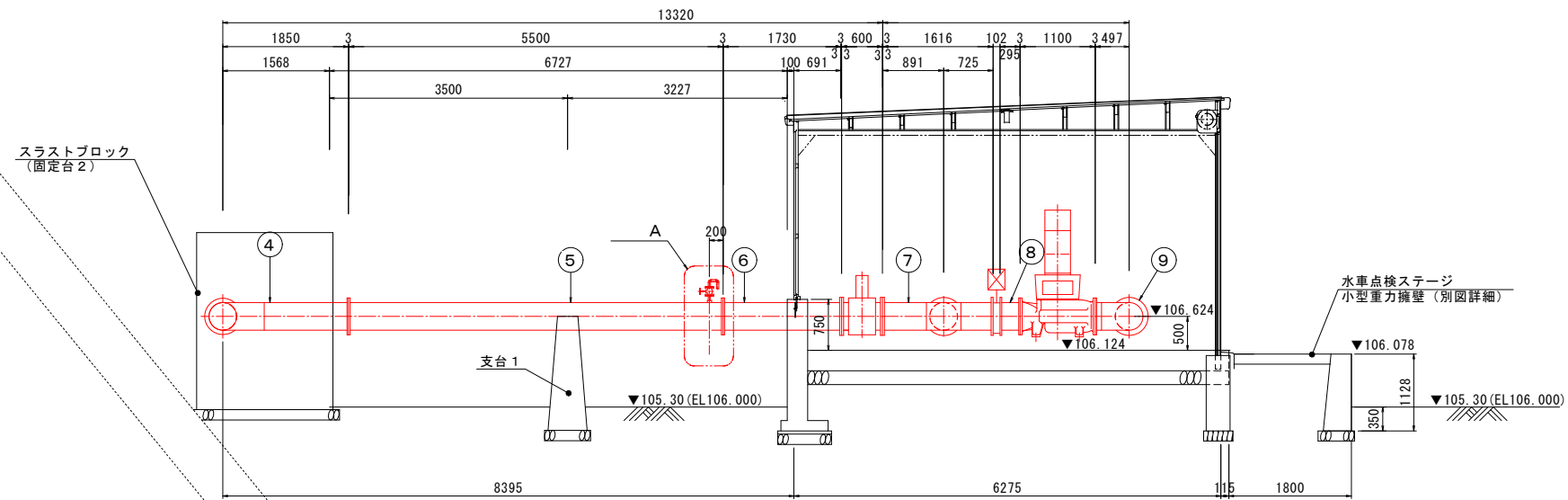
断面図 S=1:50

※()内数値は、竣工図の数値示す。

A-A

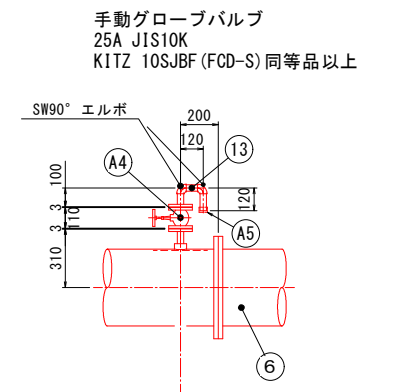


B-B



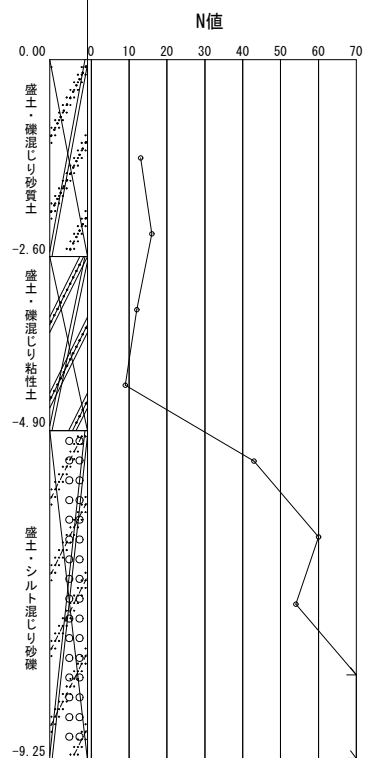
A部詳細 S=1:20

エア抜き



ボーリング柱状図

(地下水位なし)

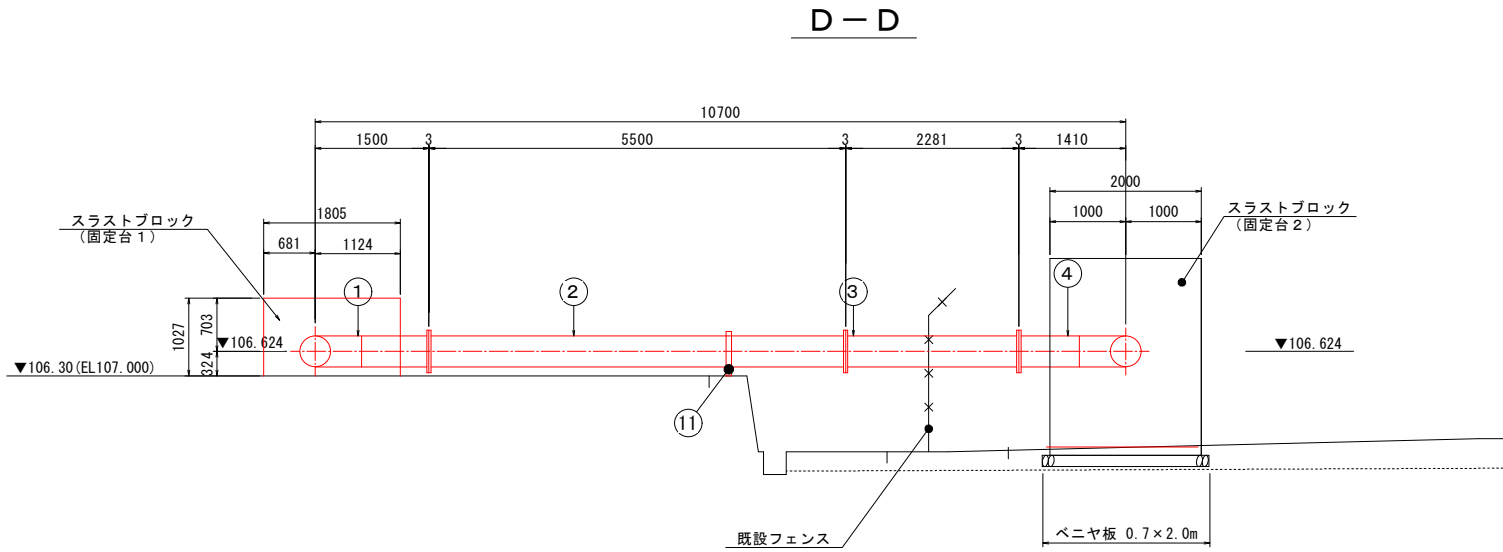
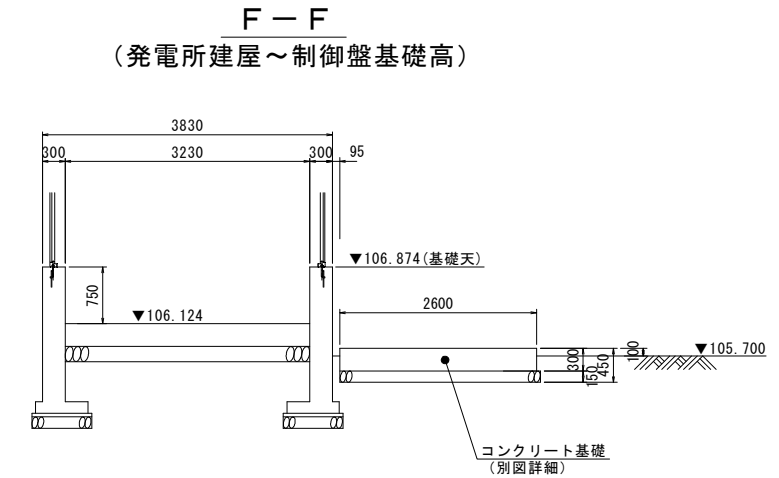
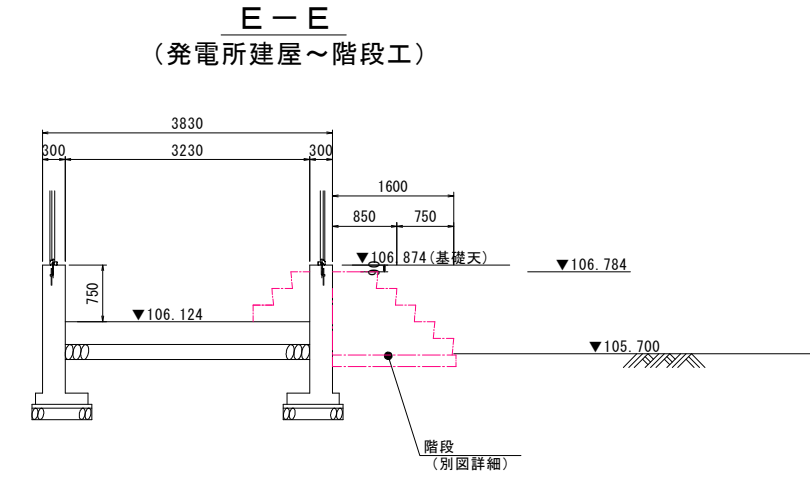
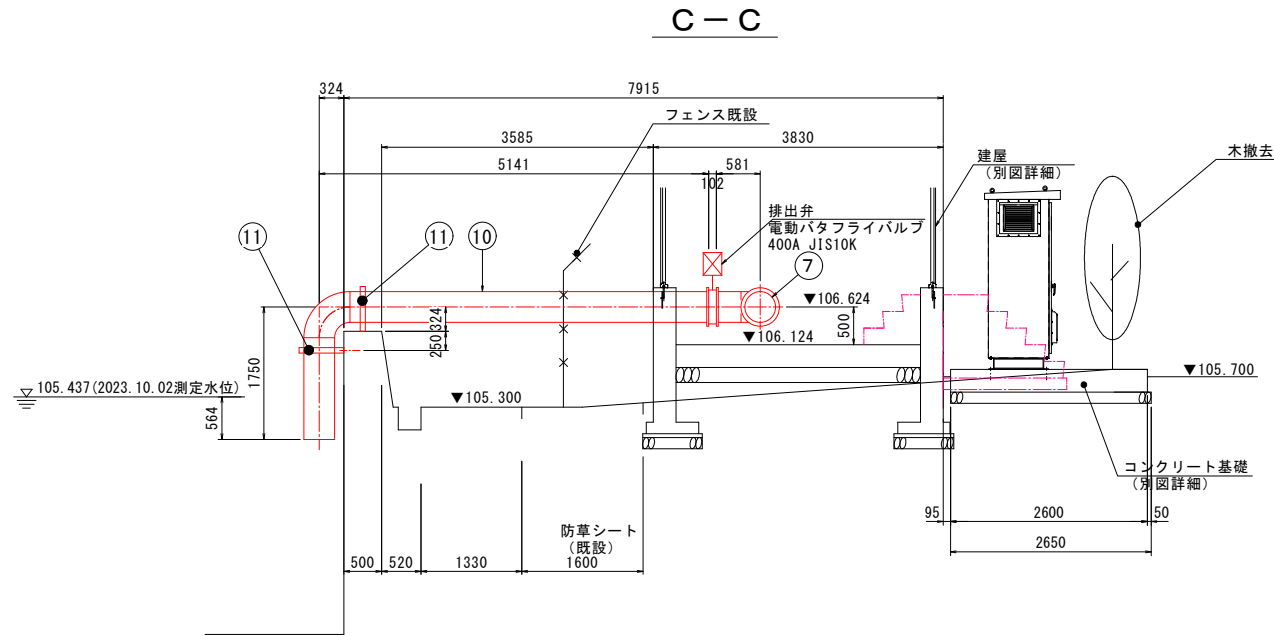


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水圧管, 放水管全体図(2/3)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/50	図面番号	3 / 13
事業者名	大熊町		

水圧管，放水管全体図(3/3)

断面図 S=1:50

※()は、竣工図の数値示す。

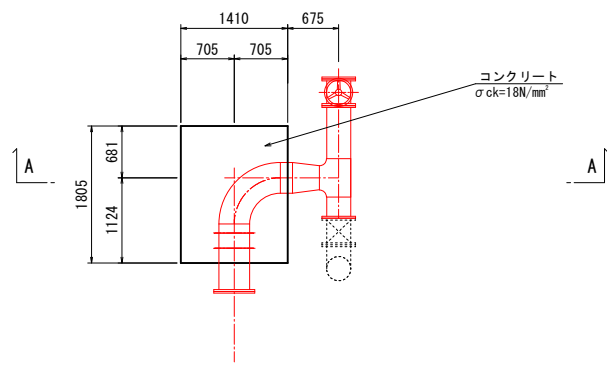


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水圧管，放水管全体図(3/3)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/50	図面番号	4 / 13
事業者名	大熊町		

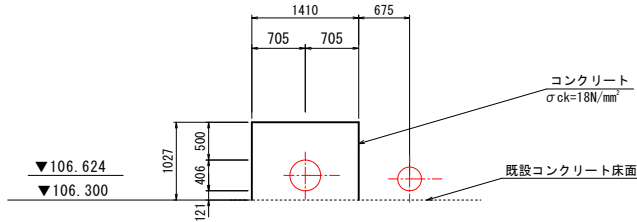
固定台築造工 S=1 : 50

(固定台 1)

平面図

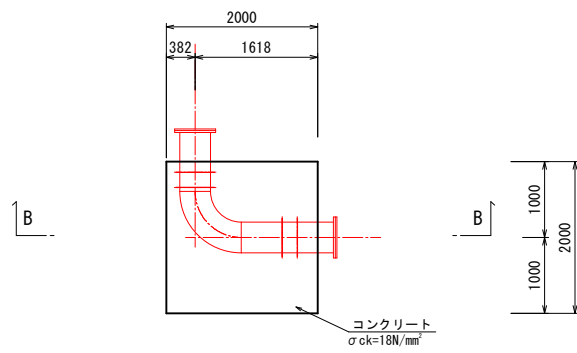


A-A断面図

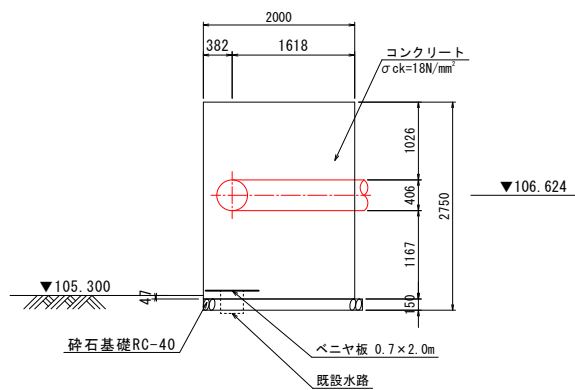


(固定台 2)

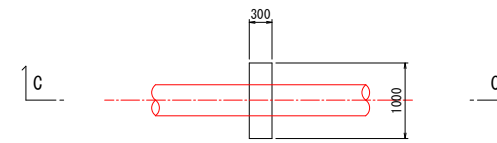
平面図



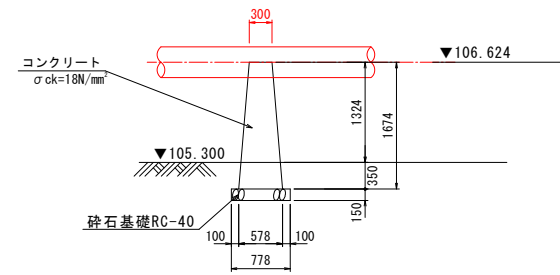
B-B断面図



(支台 1)



C-C断面図

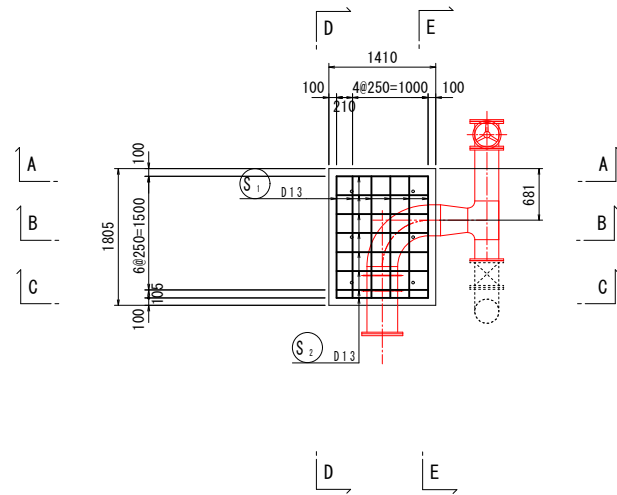


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	固定台築造工		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/50	図面番号	5 / 13
事業者名	大熊町		

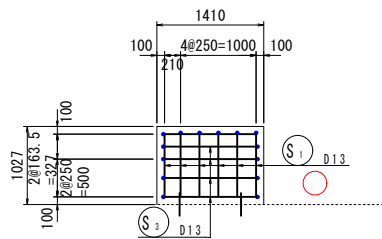
固定台配筋図(固定台 1) S=1 : 50

(ひび割れ防止筋)

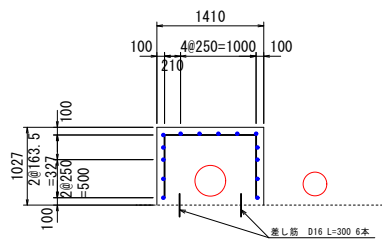
平面図



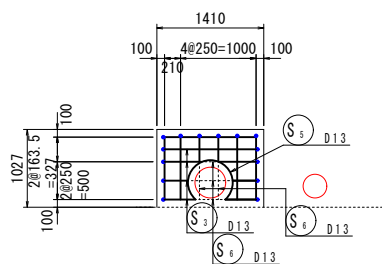
A-A断面図



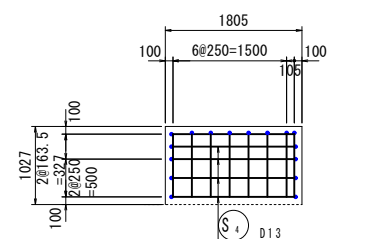
B-B断面図



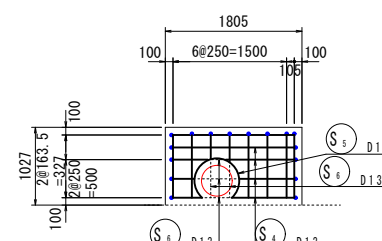
C-C断面図



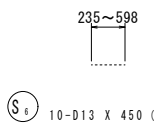
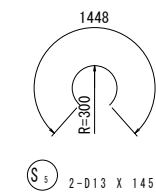
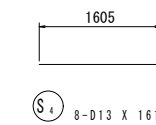
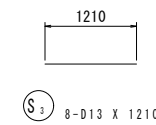
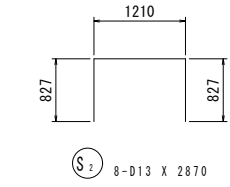
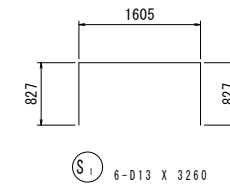
D-D断面図



E-E断面図

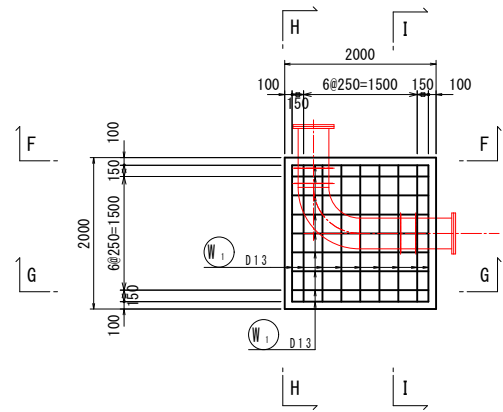


加工図

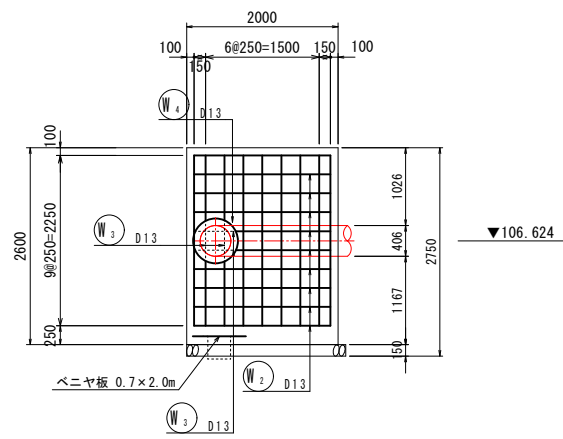


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	固定台配筋図(固定台 1)		
作成年月日	2024 年 2 月		
縮尺	1/50	図面番号	6 / 13
事業者名	大熊町		

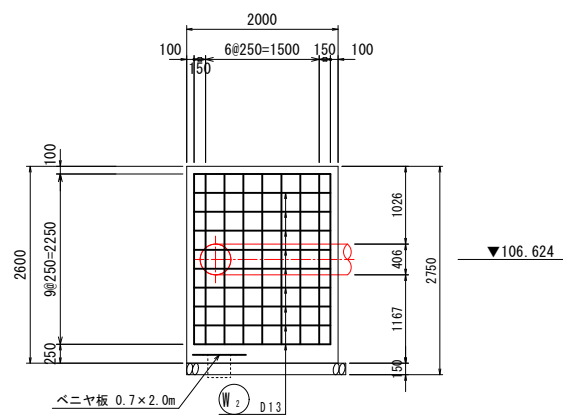
固定台配筋図(固定台2) S=1:50
(ひび割れ防止筋)



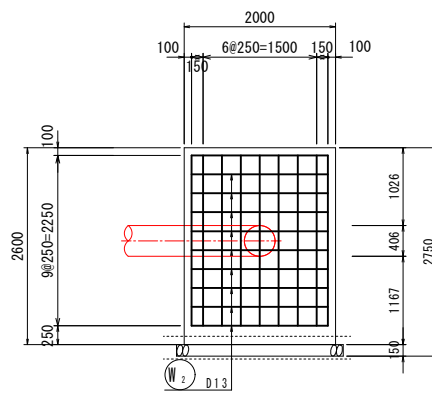
F-F断面図



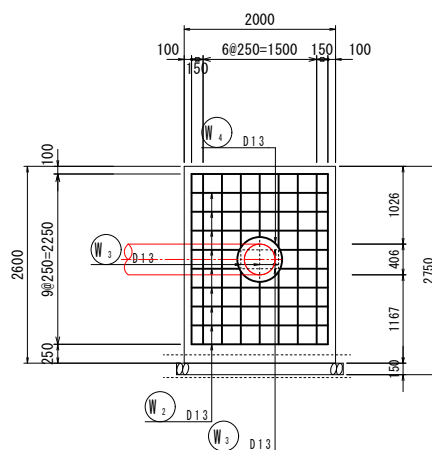
G-G断面図



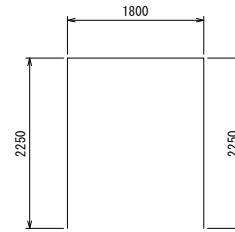
H-H断面図



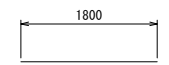
I-I断面図



加工図



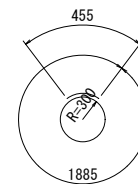
W₁ 18-D13 X 6300



W₂ 36-D13 X 1800



W₃ 9-D13 X 510 (平均長) 控除筋



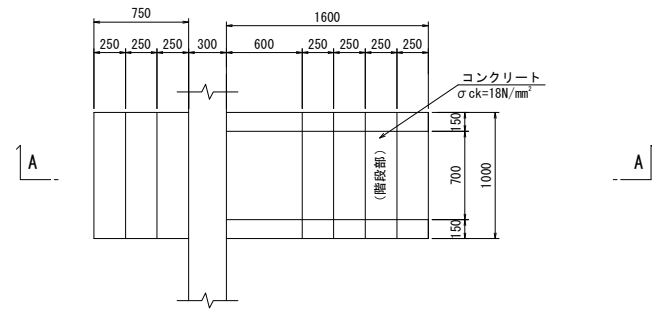
W₄ 2-D13 X 2340

鉄筋質量表

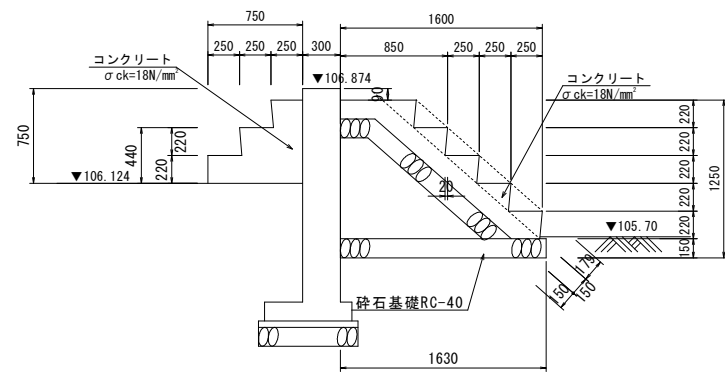
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算	
S ₁	D13	3260	6	0.995	3.24	19	□	
S ₂	D13	2870	8	0.995	2.86	23	□	
S ₃	D13	1210	8	0.995	1.20	10	—	
S ₄	D13	1610	8	0.995	1.60	13	—	
S ₅	D13	1450	2	0.995	1.44	3	○	
S ₆	D13	450	10	0.995	0.448	-4 (平均長)	
							64	
W ₁	D13	3110	32	0.995	3.09	99	—	
W ₁	D13	6300	18	0.995	6.27	113	□	
W ₂	D13	6150	17	0.995	6.12	104	—	
W ₂	D13	1800	36	0.995	1.79	64	—	
W ₃	D13	510	9	0.995	0.507	-5 (平均長)	
W ₄	D13	2340	2	0.995	2.33	5	○	
							380	
合計 D13					444 kg			
総質量					444 kg			

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	固定台配筋図(固定台2)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/50	図面番号	7 / 13
事業者名	大熊町		

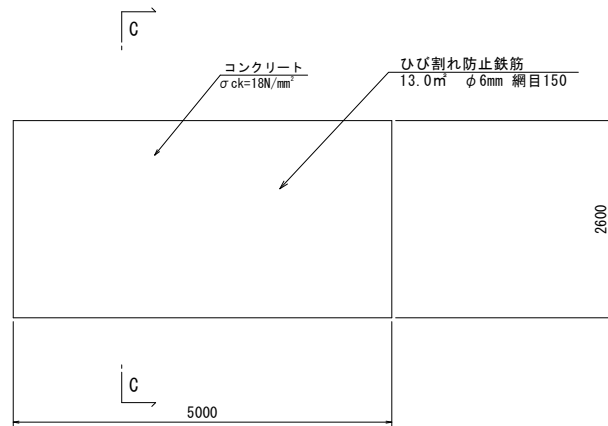
階段工 S=1:30



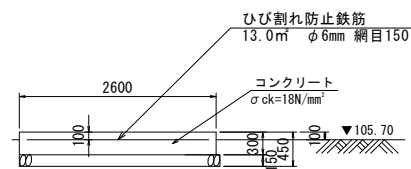
A-A断面図



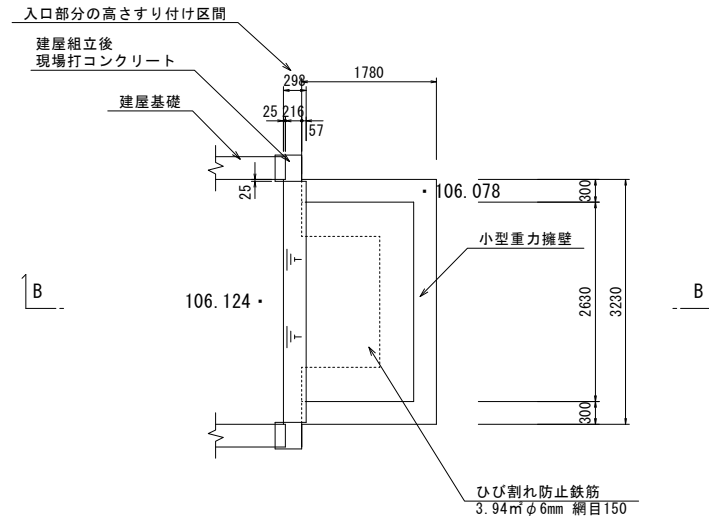
コンクリート基礎 (制御盤) S=1:50



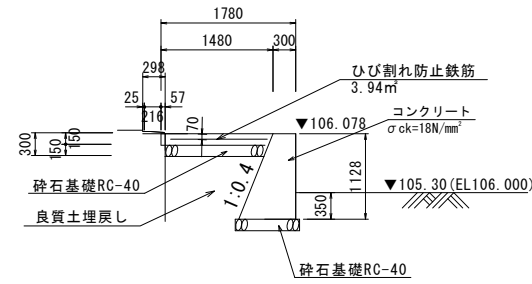
C-C断面図



水車点検ステージ 小型重力擁壁 S=1:50



B-B断面図

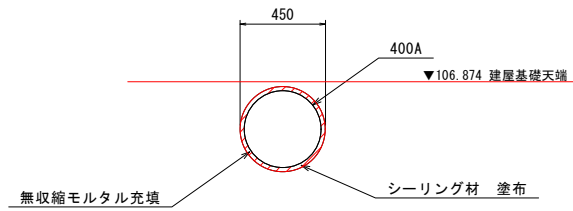
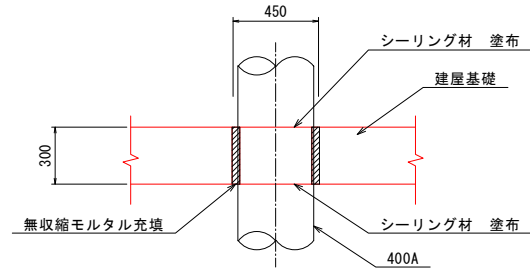


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	階段工・水車点検ステージ小型重力擁壁 コンクリート基礎(制御盤)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/30, 50	図面番号	8 / 13
事業者名	大熊町		

建屋基礎部
開口詳細図

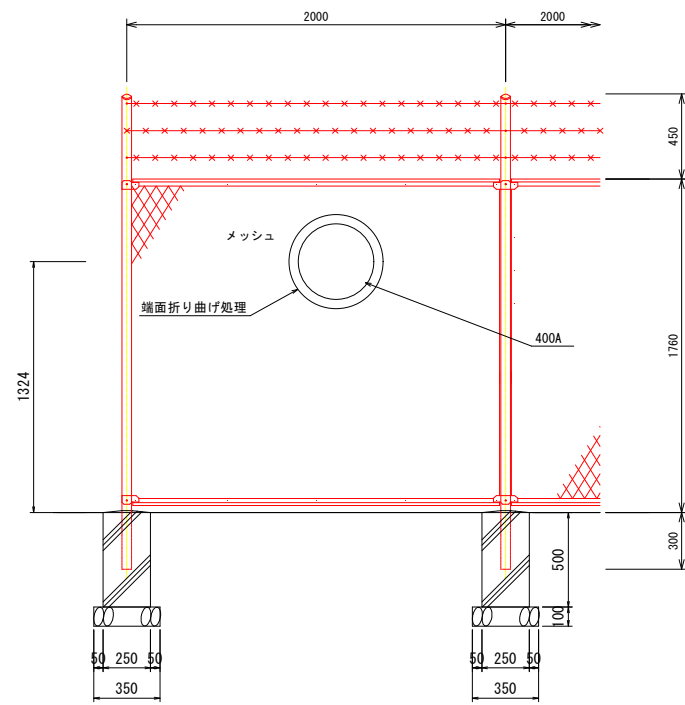
S=1:20

3箇所



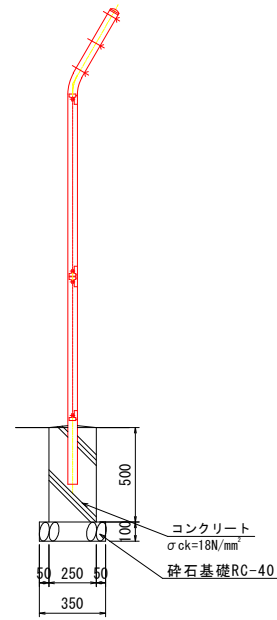
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	建屋基礎部開口詳細図		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/20	図面番号	9 / 13
事業者名	大熊町		

フェンス開口部詳細図 S=1:20



開口 ; 3箇所

フェンス支柱詳細図 S=1:20



支柱新設 ; 1箇所
支柱移設 (既設) ; 1箇所

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	フェンス開口部詳細図 フェンス支柱詳細図		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/20	図面番号	10 / 13
事業者名	大熊町		

水圧管, 放水管姿図(1/2) S=1:20

注1) 本図は参考図とし、実施工事の際には起工測量等の結果に基づいて原寸・製作を行うこと。
 注2) フランジ接合部にはガスケットを挿入のこと。
 (電動バタフライバルブ取合部は除く。)

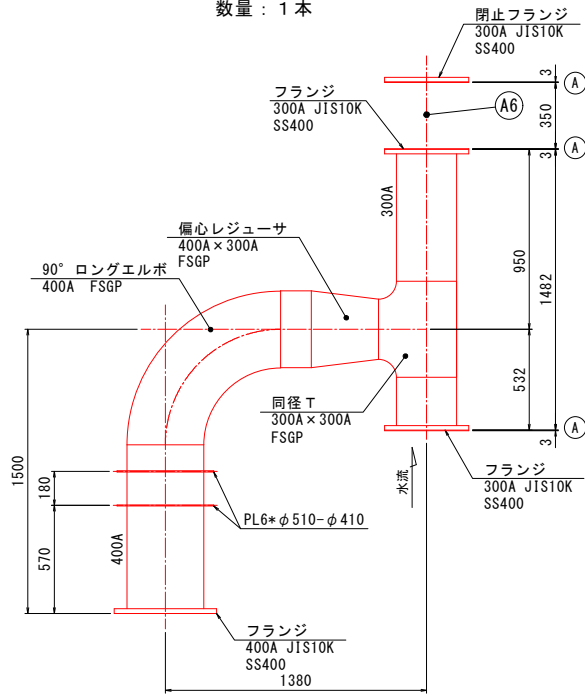
設計仕様	
型式	鋼製水圧管路
設置数	1 連
総延長	37 m
総落差	22.54 m
管規格	400A (φ406.4 t=7.9mm) SGP 300A (φ318.5 t=6.9mm) SGP 25A (φ34.0 t=4.5mm) sch80
材質	400A・300A: SGP 25A: STPG370-E sch80 スティフナー: SS400 フランジ: SS400
設計水圧	静水圧 0.32 MPa
ガスケット	JIS 10K RF #6500 (t=3.0mm) JIS 5K RF #6500 (t=3.0mm) ただし手動ゲート弁300A (既設含む) 及び水車接続フランジはFFガスケットを使用
ボルト仕様	マシンボルト SUS304 六角ナット (1種) SUS304 平座金 SUS304 ばね座金 SUS304
適用基準	水門鉄管技術基準

製作仕様	
(1) 管の有効長	図面指示によること
(2) 管径・管厚の許容差	JIS G 3452 及び JIS G 3454 の規定によること
(3) フランジの寸法許容差	JIS B 2220 の規定によること
(4) 内面・外面	溶融亜鉛メッキ施工
(5) 検査及び確認	以下の内容及び時期で確認を受けるものとする a) 材料確認 b) 寸法確認 c) 溶接確認 (浸透探傷検査) d) 据付確認 e) 設計水圧による気密テストを実施する。 (放出ラインのピースは除く。)

- 《注記》
- 突合せ溶接
完全溶け込み溶接
 - フランジ溶接
外側脚長1.4t以上
内側脚長1.0t又は6.0mm以上
 - すみ肉溶接
脚長1.25t以上

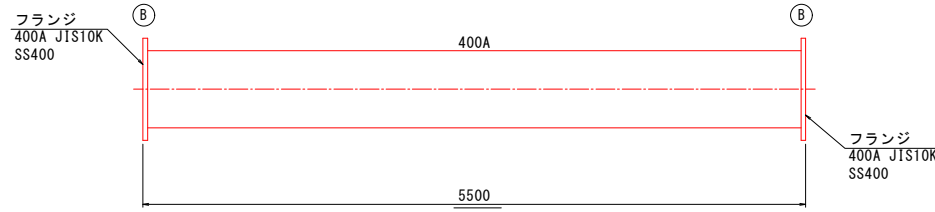
1 姿図

数量: 1 本



2 姿図

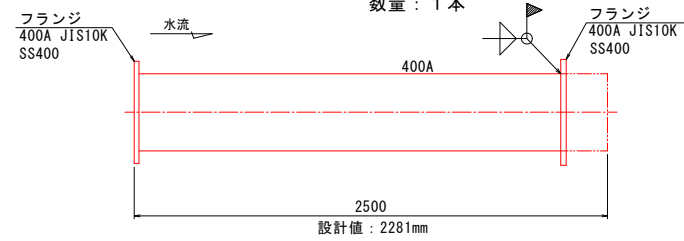
数量: 1 本



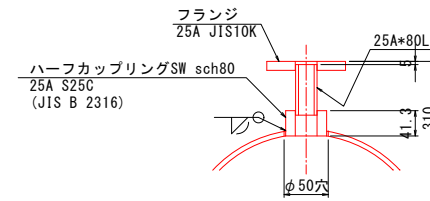
3 姿図

数量: 1 本

※現地調整後長さを決定し、フランジ溶接のこと。

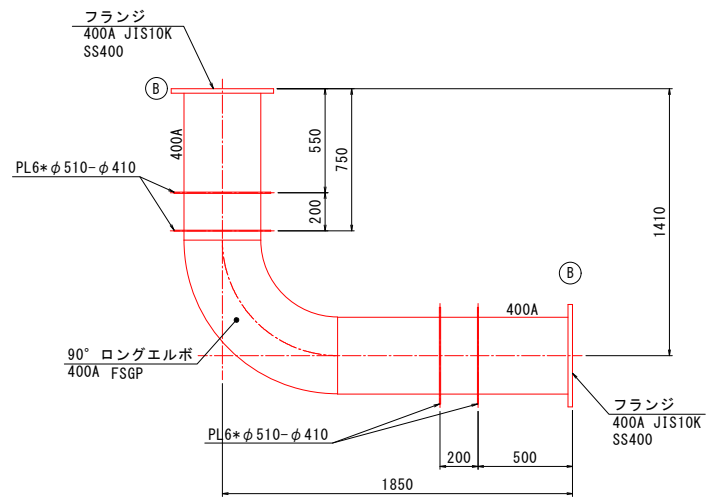


B部詳細 S=1:6



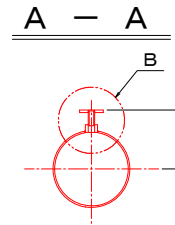
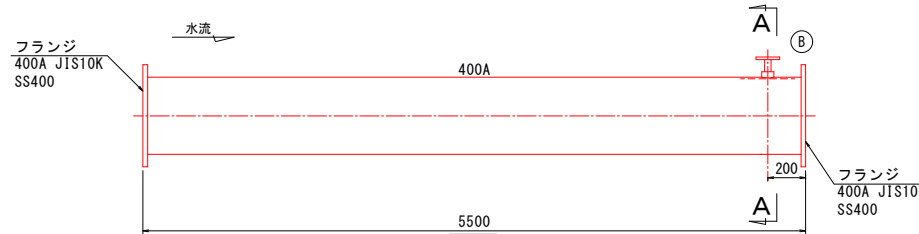
4 姿図

数量: 1 本



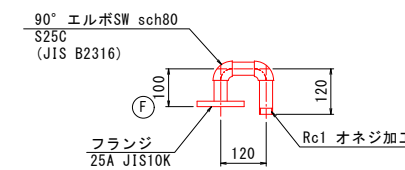
5 姿図

数量: 1 本



13 姿図 S=1:10

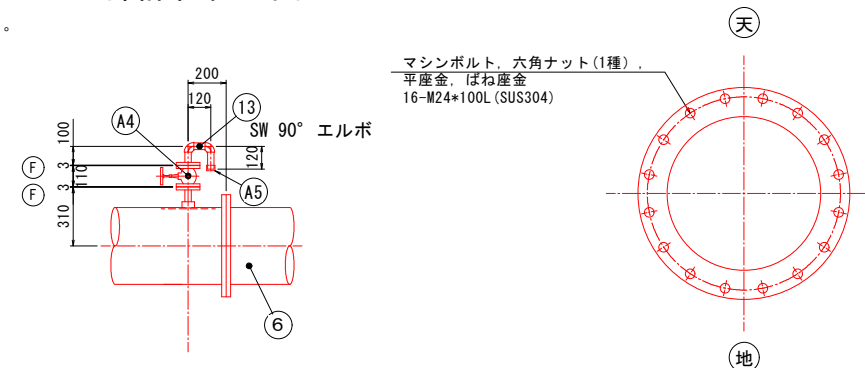
数量: 1 本



フランジ取付標準詳細 S=1:10

400A JIS10K SOP FF

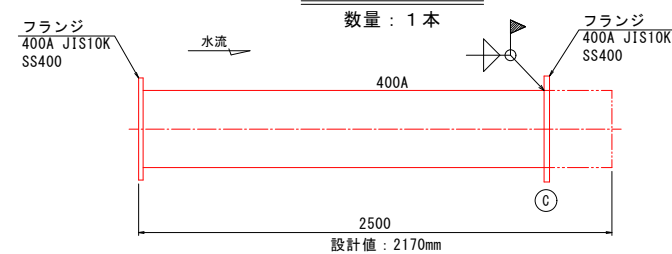
B部詳細組立図



6 姿図

数量: 1 本

※現地調整後長さを決定し、フランジ溶接のこと。



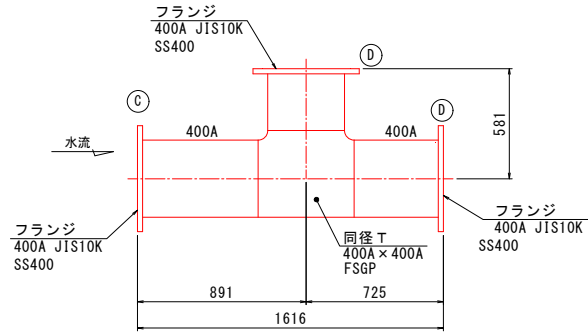
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水圧管, 放水管姿図(1/2)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/20	図面番号	11 / 13
事業者名	大熊町		

水圧管, 放水管姿図(2/2) S=1:20

注1) 本図は参考図とし、実施工事の際には起工測量等の結果に基づいて原寸・製作を行うこと。
 注2) フランジ接合部にはガスケットを挿入のこと。
 (電動バタフライバルブ取合部は除く。)

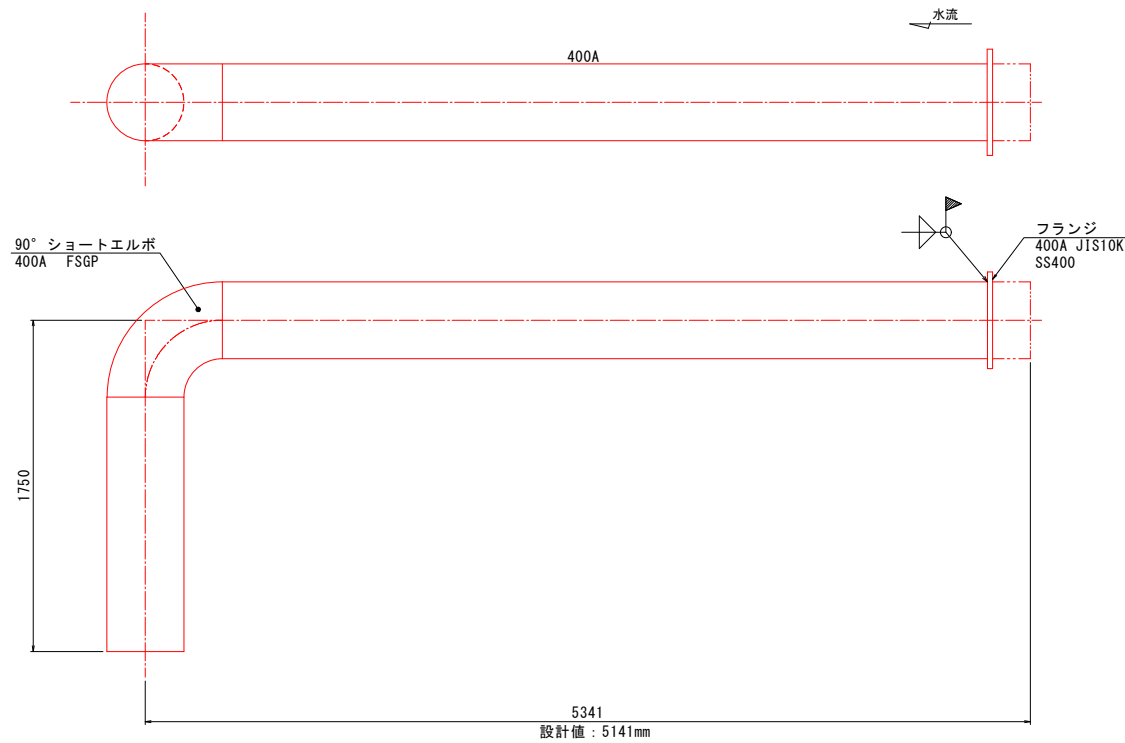
⑦ 姿図

数量: 1本



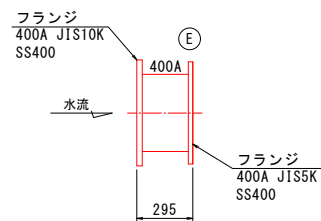
⑩ 姿図

数量: 2本



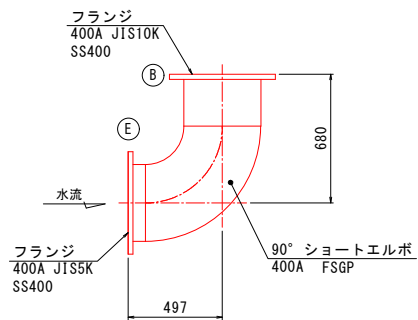
⑧ 姿図

数量: 1本



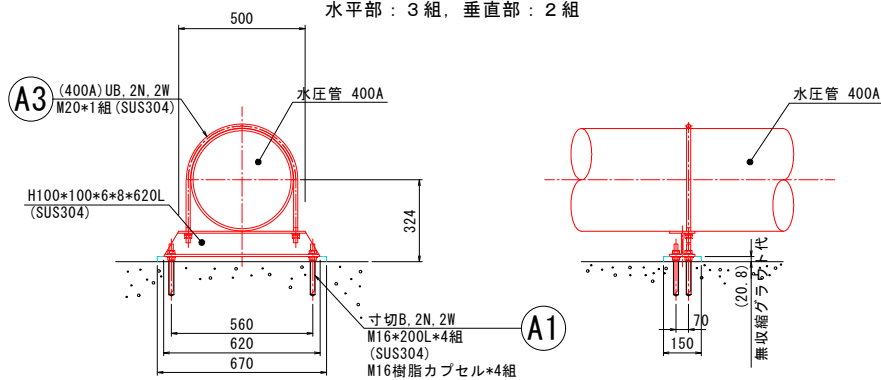
⑨ 姿図

数量: 1本



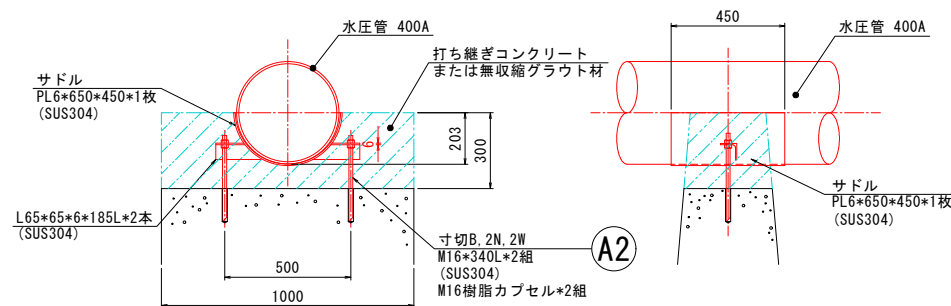
⑪ 管固定部詳細 S=1:15

水平部: 3組, 垂直部: 2組



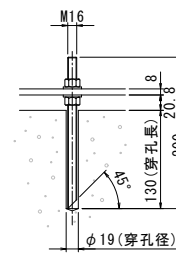
グラウト面積 水平部: 670*150
 垂直部: 620*100

⑫ 支台サドル部詳細 S=1:15



⑬ A1 樹脂アンカ施工詳細図 S=1:5

(M16アンカー)

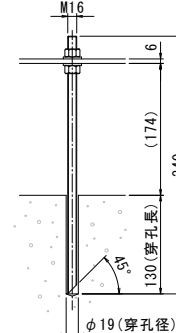


《注記》

- 突合せ溶接
完全溶け込み溶接
- フランジ溶接
外側脚長1.4t以上
内側脚長1.0t又は6.0mm以上
- すみ肉溶接
脚長1.25t以上

⑬ A2 樹脂アンカ施工詳細図 S=1:5

(M16アンカー)



番号	名称	材質	寸法	数量	記事
1	水圧管(1)	SGP	400A, 300A	1	
2	水圧管(2)	"	400A	1	
3	水圧管(3)	"	400A	1	
4	水圧管(4)	"	400A	1	
5	水圧管(5)	"	400A, 25A	1	
6	水圧管(6)	"	400A	1	
7	水圧管(7)	"	400A	1	
8	水圧管(8)	"	400A	1	
9	放水管(1)	"	400A	1	
10	放水管(2)	"	400A	2	
11	管固定材	SUS304		5	
12	支台サドル	SUS304		1	
13	空気抜き管	STPG370-E	25A sch80	1	
A1	寸切B, 2N, 2W	SUS304	M16*200	20	
	樹脂カプセル		M16用	20	
A2	寸切B, 2N, 2W	SUS304	M16*340	2	
	樹脂カプセル		M16用	2	
A3	UB, 2N, 2W	SUS304	400A用(M20)	5	
A4	手動グローブバルブ	FCD-S	KITZ10SJBF_25A 同等品以上	1	
A5	ねじ込みキャップ	FCM270	25A(Rcネジ)	1	
A6	手動ゲートバルブ	FC200	KITZ10FCL_300A 同等品以上	1	

マシンボルト長さ及びガスケットタイプ選定表

フランジ記号	ボルトサイズ長さ	本数(1セットあたり)	ナットの要否	ガスケットのタイプ	必要数(セット)
Ⓐ	M22×95L	16	要	300A JIS 10K FF	3
Ⓑ	M24×100L	16	要	400A JIS 10K RF	6
Ⓒ	M24×110L	16	要	400A JIS 10K RF×2枚	2
Ⓓ	M24×200L	12	要	不要	2
	M24×65L	8	否		
Ⓔ	M22×95L	16	要	400A JIS 5K FF	2
Ⓕ	M16×60L	4	要	25A JIS 10K RF	2

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水圧管, 放水管姿図(2/2)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/20	図面番号	12 / 13
事業者名	大熊町		

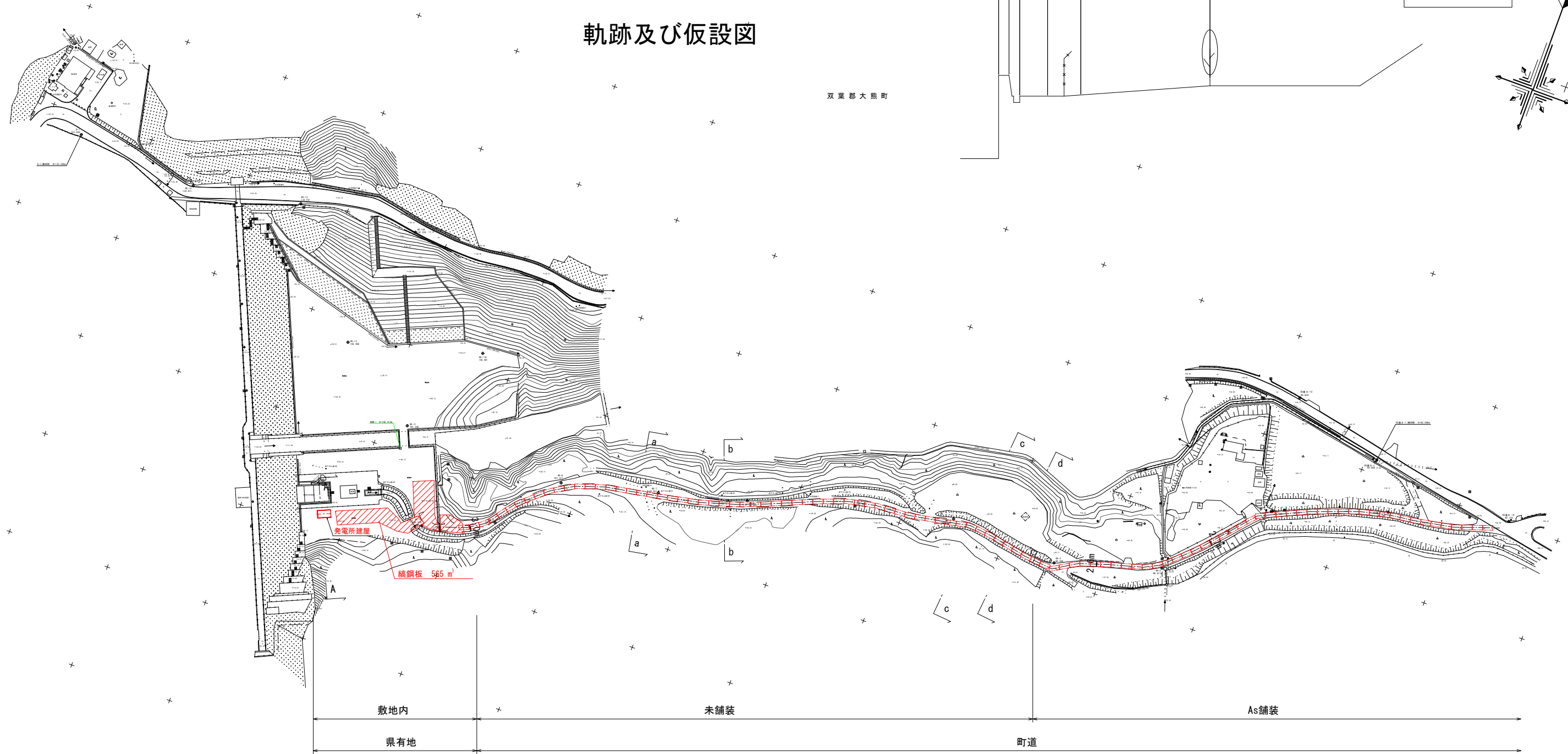
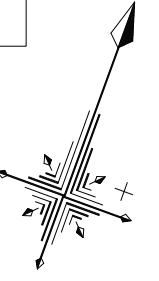
全体平面図 s=1:1,000

軌跡及び仮設図

双葉郡大熊町

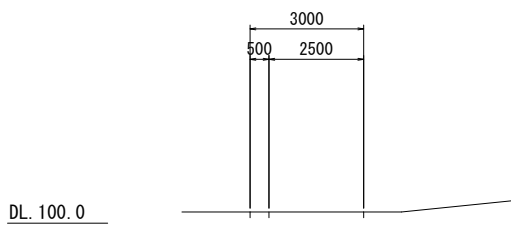
A-A

参考図

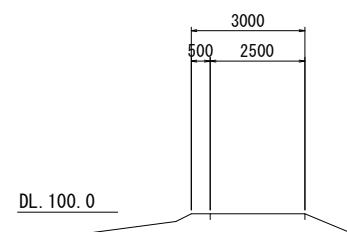


横断図 s=1:100

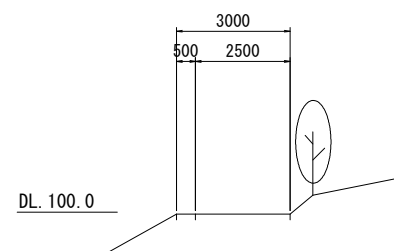
a-a



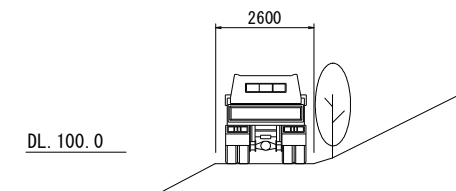
b-b



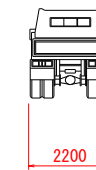
c-c



d-d



4tダンプトラック



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	全体平面図		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/1,000	図面番号	13 / 13
事業者名	大熊町		

6	コンクリートの種類及び強度 (6.1.3~4) (6.2.1~3)	※普通コンクリート 設計基準強度 F_c (N/mm ²) 容積質量 (t/m ³) スラブ (cm) 適用場所 建築物 (基礎、基礎梁、土間スラブ) 建築物 (基礎、基礎梁、土間スラブ以外) 土間コンクリート
7	アンカーボルト (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)	適用 構造用アンカーボルト セットの種類 ・ JSS II 13-2004 ABR40(M22) ・ JSS II 13-2004 ABR490 形状、寸法 ・ 図示による ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による
8	ターナックル (7.2.6)	種類 建築用ターナックル前 ※別枠 建築用ターナックルボルト ※羽子板ボルト ボルトの呼び ※構造図による ボルトの材質 ・ F10T ・ F8T
9	デッキプレート (7.2.7)	材質、形状及び寸法 ※構造図による
10	スタッドボルト	※鋼付スタッド (JIS B1198)
11	柱底均しモルタル (7.2.9)	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※7.2.9(b)(1)~(3)による 無収縮モルタルの品質及び試験方法 ※表7.2.6による
12	製作精度 (7.3.3)	・ 標準仕様書7.3.3による 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ ダイヤフラムをH12建字第1464号第二号(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・ 「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイヤフラムはH12建字第1464号第二号(1)(2)に規定する仕様を満足すること
13	仮組 (7.3.10)	※行わない ・ 行う
14	高力ボルト接合	スプライスプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする
15	溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ※構造関係共通事項(5) 3. 溶接継手の種類別開先標準 による ・ 構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項(6) 5. 鉄骨溶接施工(3) による ・ 構造図による 鋼製エンドタブの切除部分 ※全て () 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による エンドタブ・表あて金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする
16	入熱バス温度での溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・ 図示 適用箇所 ※ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・ 図示による
17	溶接部の試験 (7.6.11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 表7.6.2~4 ※行わない 工場溶接の場合 AOQL ※4.0%・2.5% 部 ※全て 検査水準 ※第6水準
18	耐火被覆 (7.9.2~7)	種類 種類 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性能 適用箇所(部位・部分)
19	建方精度 (7.10.2)	※(社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」 付表「工事現場」による
20	アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による 埋込み工法 埋込み工法によるアンカーボルトの保持及び埋込み工法 表7.10.1 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 ※標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30]) による
21	錆止め塗装 (7.8.1~4)	塗料の種類 錆止め塗装の塗料の種類 ※1.8.3.2 表1.8.3.2のA種 ・ E-P-Gの適用箇所は1.8.3.2 表1.8.3.2のC種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行う 適用箇所 ※構造図による 塗装の種類 ※構造図による ※行わない
22	溶融亜鉛めっき工法 (7.12.1~6)	※第7章12節による

7	アンカーボルト (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)	適用 構造用アンカーボルト セットの種類 ・ JSS II 13-2004 ABR40(M22) ・ JSS II 13-2004 ABR490 形状、寸法 ・ 図示による ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による
8	ターナックル (7.2.6)	種類 建築用ターナックル前 ※別枠 建築用ターナックルボルト ※羽子板ボルト ボルトの呼び ※構造図による ボルトの材質 ・ F10T ・ F8T
9	デッキプレート (7.2.7)	材質、形状及び寸法 ※構造図による
10	スタッドボルト	※鋼付スタッド (JIS B1198)
11	柱底均しモルタル (7.2.9)	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※7.2.9(b)(1)~(3)による 無収縮モルタルの品質及び試験方法 ※表7.2.6による
12	製作精度 (7.3.3)	・ 標準仕様書7.3.3による 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ ダイヤフラムをH12建字第1464号第二号(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・ 「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 全てのダイヤフラムはH12建字第1464号第二号(1)(2)に規定する仕様を満足すること
13	仮組 (7.3.10)	※行わない ・ 行う
14	高力ボルト接合	スプライスプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする
15	溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ※構造関係共通事項(5) 3. 溶接継手の種類別開先標準 による ・ 構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項(6) 5. 鉄骨溶接施工(3) による ・ 構造図による 鋼製エンドタブの切除部分 ※全て () 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による エンドタブ・表あて金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする
16	入熱バス温度での溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・ 図示 適用箇所 ※ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・ 図示による
17	溶接部の試験 (7.6.11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 表7.6.2~4 ※行わない 工場溶接の場合 AOQL ※4.0%・2.5% 部 ※全て 検査水準 ※第6水準
18	耐火被覆 (7.9.2~7)	種類 種類 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性能 適用箇所(部位・部分)
19	建方精度 (7.10.2)	※(社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」 付表「工事現場」による
20	アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による 埋込み工法 埋込み工法によるアンカーボルトの保持及び埋込み工法 表7.10.1 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 ※標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30]) による
21	錆止め塗装 (7.8.1~4)	塗料の種類 錆止め塗装の塗料の種類 ※1.8.3.2 表1.8.3.2のA種 ・ E-P-Gの適用箇所は1.8.3.2 表1.8.3.2のC種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行う 適用箇所 ※構造図による 塗装の種類 ※構造図による ※行わない
22	溶融亜鉛めっき工法 (7.12.1~6)	※第7章12節による

8	コンクリートブロック (8.2.2)(8.2.5) (8.3.2)	表8.3.1 適用箇所 断面形状及び引張強さによる区分 間仕切壁、地下二重壁、外壁、壁 ※空調ブロック16 ・ 空調ブロックW-16 衛生配管用裏積みブロック ※空調ブロック08 ・ 空調ブロック16 厚さ 図示による
2	ALCパネル (8.4.2~5)	表8.4.2~4 種類 厚さ (mm) 単位質量 (N/m ²) 耐火性能 工法の種類 ・ 外壁用 ※100 ・ 間仕切用 100 ・ 屋根用 ※100 ・ 床用 100・150 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の 目地幅 (mm) ※20 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する
3	押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~4)	表8.5.1~2 表面形状 厚さ (mm) 耐火性能 取付工法の種類 ・ 外壁 ※フラットパネル ・ 間仕切壁 ※フラットパネル ・ 外壁 ※フラットパネル ・ 間仕切壁 ※フラットパネル ・ 外壁 ※フラットパネル ・ 間仕切壁 ※フラットパネル 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
9	防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2~5) アスファルトの種類 3種 防水層の下のモルタル塗り ・ 適用する (施工箇所) 図示 層保護防水 表9.2.3~6 種類 施工箇所 断熱材(G) 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ A-1 ・ A-2 ・ B-1 ・ B-2 ・ A-1-1 ・ A-1-2 ・ B-1-1 ・ B-1-2 ※ポリスチレンフィラメント 厚さ 0.15mm以上 ※乾式保護材 ・ コリット押え ※押出法ポリスチレン フォーム 3種 b スキン層付 厚さ ※25mm・50 断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること 層保護防水断熱工法の断熱材 (オゾン層破壊物質を含まないもの、また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること) [G] 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム3種 b スキン層付 (JIS A9511) 厚さ ※25mm 防水立上り部の保護 ※乾式保護材 無石繊維強化原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの (密着系パネル) とし、寸法は図示による 品質・性能等 寸法の許容差 厚さ: -5~+10%、幅: ±1% 曲げ強さ、曲げモーメント (N・cm) (スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント) 標準時450以上、凍結解凍完了時 (試験サイクル数) 320以上 (200) 耐凍結融解性能 (試験サイクル数: 上記) 試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと 吸水性 (2.0%以下) 吸水による長さ変化率 (0.7%以下) 耐火性能 不燃 耐衝撃性 高さ1.0mから試験体の弱部点に500gのおもりを落とすときと、裏面に達する穴があかないこと 出荷時の含水率 10%以下 ・ れんが
2	改質アスファルトシート防水 (9.3.2~3)	表9.3.1 工程による種別 施工箇所 改質アスファルトシート 種類 厚さ (mm) ・ AS-1 下層用 ※非露出複層防水用R種 ※2.5mm以上 上層用 ※露出複層防水用R種 ※3.0mm以上 ・ AS-2 ※露出単層防水用R種 ※4.0mm以上 保護層 ・ 設ける (図示)
3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~3)	表9.4.1 防水層の種類 種類 施工箇所 R-フィングシートの厚さ (mm) 絶縁用シートの材質 仕上塗料 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
4	塗膜防水 (9.5.3)	表9.5.1~2 防水層の種類 種類 施工箇所 備考 ・ X-1 ・ X-2 ・ Y-1 ・ Y-2
5	ゲイ酸系塗布防水	防水種類 ※C-U1 規格 ※JASS8 T-301 施工箇所 記載のない事項は、製造所の仕様による他、日本建築学会JASS8防水工事最新版による

6	脱気装置	防水種類 D-1 D-2 X-1 Y-1 Y-2 脱気装置の種類 ※製造所の仕様による 材質 ※製造所の仕様による 設置数量 ※製造所の仕様による
7	シーリング用材料 (9.6.2)	種類及び施工箇所 (図示以外は表9.6.1による) シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ※行わない ・ 行う
8	シーリング材の試験 (9.6.5)	接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験
10	石工工事	1 石材 (10.2.1) 種類 ※天然石 ・ 人工石 品質 ※1等品 (床以外) ※2等品 (床) 形状、寸法及び厚さ ※図示による 石材の種類及び表面仕上げ 表10.2.1~2 施工箇所 種類 (産地、名称) 仕上げの種類 表面処理・裏打ち材の有無
2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法用金物の種類 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 表10.2.4
3	その他の材料 (10.2.3)	・ 石表面処理材 () ・ 裏打ち処理材 () ・ ドレンパイプの材質 (70g/m ² 程度) ・ 金物固定充填材料 ()
11	タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) 外壁 ※図示による ・ 表11.1.1による ・ 耐震スリット部 2 材料 (11.2.1) 主な用途による区分 形状寸法 (mm) 再生材の適用 [G] 被水率による区分 吸水率 (%) 不透水性 備考 当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承認を受けること 役物使用箇所 ※各部の形状は図示による 内装 (標準一体成型品以外は接着成型品とする) 外装 出隅、天端出隅、窓台、マグサ タイルの試験張り ※行わない ・ 行う () タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う () 有機質接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 3 外部陶磁器質タイル後張り (6.9.3)(11.3.3) 施工箇所 ※付着外壁 (ホールを含む) ・ 図示による 適用タイル ・ 小口タイル ・ ニドタイル 躯体表面処理 ※2階以上を行う ・ 行わない 躯体表面処理工法の種類 ※目貫し工法 高圧水洗による目貫しは、5.0Mpa以上の水圧で、2.5分/m ² 程度とし、仕上がり面の 程度は監督職員の承認を受ける 施工箇所の躯体打増しは、図示による ・ MCR工法 MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による 施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による 下地モルタル塗り ※モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ 行わない ポリマーセメントモルタルの割合は、1.5.2.3(d)による 工法 ※密着張り ・ 改良接着張り ・ 改良積上張り ・ モザイクタイル張り 表11.3.2 4 内部陶磁器質タイル後張り (11.3.3) 施工箇所 ※便所等 ・ 図示による 適用タイル ・ 内装陶磁器質タイル ・ 50角モザイクタイル 下地モルタル塗り ※モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ 行わない ポリマーセメントモルタルの割合は、1.5.2.3(d)による 工法 ※密着張り ・ 改良接着張り ・ 改良積上張り ・ モザイクタイル張り 表11.3.2

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	特記仕様書 (2/4)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	----	図面番号	2 / 10
事業者名	大熊町		

Main specification table with columns for item number, description, and technical details. Includes sections for wood work, metal work, and glass work.

Project information table including: 工事名 (Project Name), 図面名 (Drawing Name), 作成年月日 (Creation Date), 縮尺 (Scale), 事業名 (Business Name).

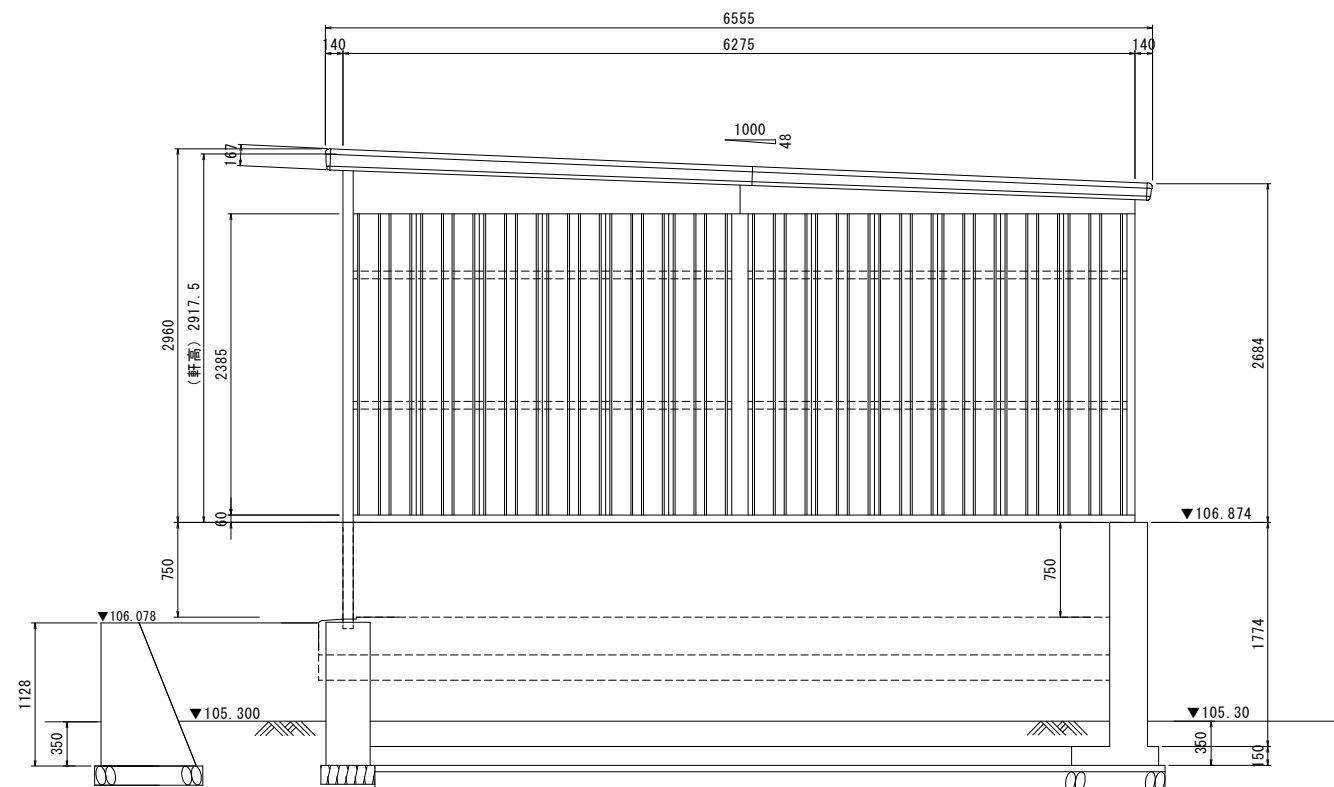
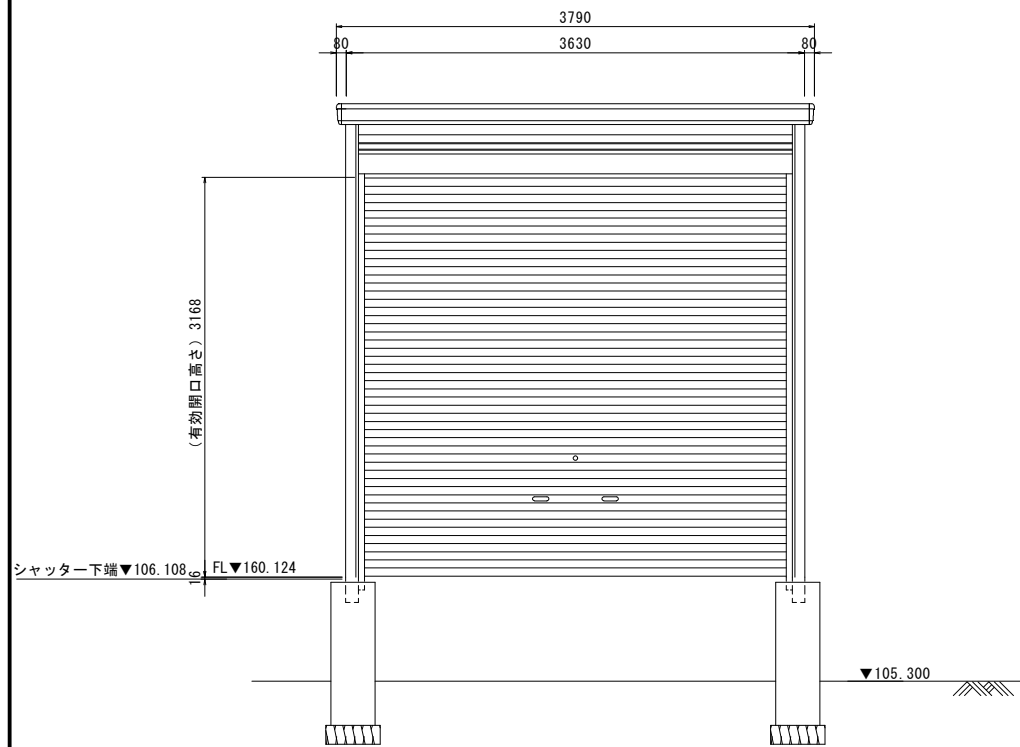
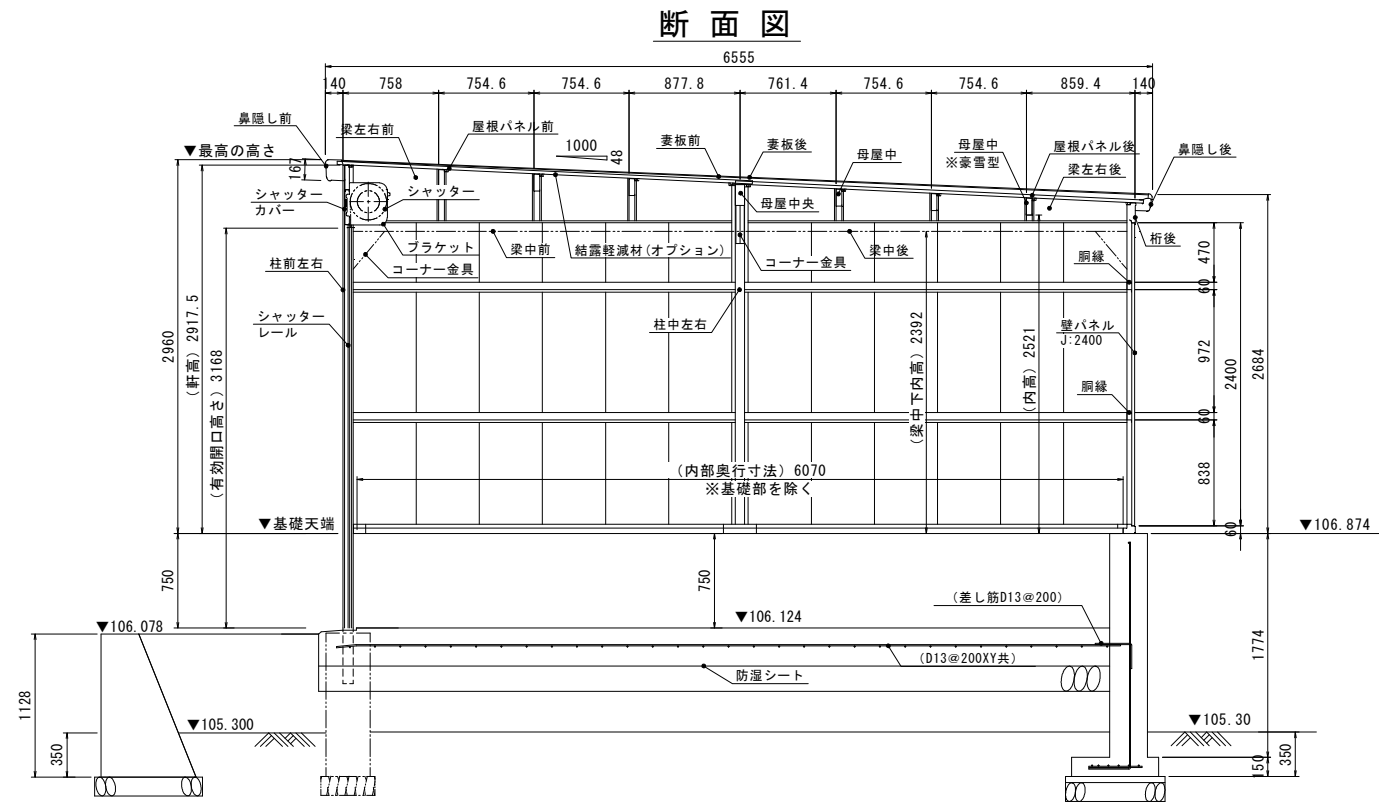
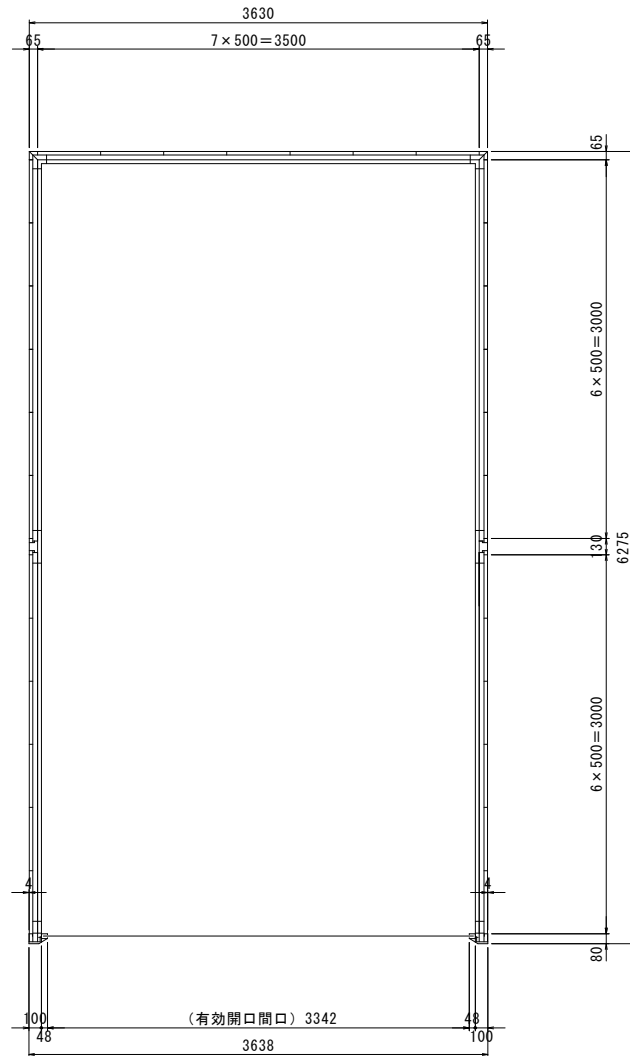
19 内装工事	1	接着剤 (19.2.2)	壁紙施工で用いられる接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外・第三種 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする	記載用取り出しパネル フリースクエアフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 記載用取り出し開口 ※パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 ・図示による 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※なし ・有り(※固定式・可変式)：施工箇所(※図示による)	17	フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗メッシュフェンス ・鋼管フェンス 高さ ・図示による ・アルミフェンス	7	排水性アスファルト 舗装 G (2.2.8.2～6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う	
	2	ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル (19.2.2～3)	ビニル樹脂系材料の原材料 再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること(JIS A5705(ビニル系材料)に規定されるビニル系材料の種類で記号PFに該当するものを除く) ・ビニル床シート 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 工法 ※発泡層のないもの ※FS ・ブレン ※2.0 ・突付け ※マーブル ※2.5 ※特殊柄 ※熱溶接 ・発泡層のあるもの ・ブレン ・柄物	2	2 可動間仕切 (2.0.2.3)	JIS A6512によるほか、下記による 構造形式による種類 ※スタッド式(・スタッド露出・スタッド内蔵)・スタッドパネル式 構成材の種類 ※図示による 表面材質及び厚さ(mm) ※鋼板0.6・鋼板0.8 パネル表面仕上げ メラニン樹脂塗付又はアクリル樹脂塗付(※常備色・指定色) パネル総厚さ(mm) ・ 程度 適合性の区分 ・0・12・20・28・36 防火性能 ・不燃	8	ブロック舗装 (2.2.9.2～3)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による 表2.2.8.1 ※インターロッキングブロック 材質(※コンクリート) 種類(※普通・透水性・再生用) 形状(・長方形・正方形・六角形) 厚さ(・60・80・100) 表面加工 ・ショット仕上げ クッション材 ※空積みモルタル・砂 ・再生材料を用いた舗装用ブロック(焼成) 再生材料が原材料の重量比で20%以上(複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計)使用されていること。ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等有害物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと	
	3	カーペット敷き (19.3.3～4)	・弾性ウレタン樹脂系床材 表19.4.3 仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂系床材 表19.4.4～7 仕上げの種類 ・薄膜流し膜仕上げ ・厚膜流し膜仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防汚仕上げ ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外・第三種	3	3 移動間仕切 (2.0.2.4)	パネルの操作方法による種類 ・製造所の仕様による ・図示による 表面材質及び厚さ(mm) ※鋼板0.6 仕上げ メラニン樹脂塗付又はアクリル樹脂塗付(※常備色・指定色) パネル厚さ(mm) ・ 程度 パネル圧接装置の操作方法 ・製造所の仕様による ・図示による 適合性の区分 ・36未満・36以上(JIS A6512に準拠する)	9	区画線	※路面表示用塗料(JIS K5665(路面表示用塗料)による) ・1種 2種 ※3種1号 ・低揮発性有機溶剤型の路面表示用塗料 水性型の路面表示用塗料であって、揮発性有機溶剤(VOC)の含有率(塗料総質量に対する揮発性溶剤の質量の割合)が5%以下であること 色 ※白 塗布幅 ※図示による 塗布厚さ ※1.0	
	4	合成樹脂床材 (19.4.3)	・弾性ウレタン樹脂系床材 表19.4.3 仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂系床材 表19.4.4～7 仕上げの種類 ・薄膜流し膜仕上げ ・厚膜流し膜仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防汚仕上げ ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外・第三種	4	4 トイレブース (2.0.2.5)	表面材 ※メラニン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※アルミエッジ 幅木材質 ※ステンレス幅木	21	排水工事	21 1 排水管 (2.1.2.1)	遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管B形1種 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(※S-VU) 建物外での硬質塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること
	5	床用防じん塗料塗布 (19.5.2～7)	材質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色) 仕上げの種類 コーティング(ローラー刷毛塗り) 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする	5	5 階段滑止め (2.0.2.6)	材種 ステンレス製(SUS304) ・(埋込工法 ※接着工法) 端部フラットエンド ※有(※タイヤと同材・ステンレス鋼) ・無 型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り 幅(mm) ※約35	2	削機、排水枡等 (2.1.2.2)	2 1 削機、排水枡等 (2.1.2.2)	鋼鉄製 型式 ※水射型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 適用荷重(安全荷重(kN)) ・屋内用 ・T-2用(5) ・屋外用 ・T-2用(5) ※T-6用(15) ・T-20用(50) 鍵 ・有 ・無 グレーチング
	6	フローリング張り (19.5.2～7)	種類 工法 ・単層フローリング(・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット) ・複層フローリング(※1種 ・2種 ・3種) 表層 ※なら ・ヒノキ ・乾式工法(・釘どめ工法(・A種 ・B種 ※C種) ・接着工法) 仕上げ ※ウレタン樹脂ワックス ・生地のままワックス ・オイルステインの上ワックス塗り 間伐材等の適用 ※適用する 間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること 居室の内装材については、ホルムアルデヒド放数量(JAS規格による測定方法)が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること	6	6 黒板及びホワイトボード (2.0.2.8)	※ホワイトボード ほうろう 形状・寸法は図示による ・黒板 ※焼き付け 色柄 ※緑 形状・寸法は図示による	22	1 床 (2.2.2.2～5)	22 1 床 (2.2.2.2～5)	路床の構成 ※標準詳細図による ・図示による 盛土に用いる材料(表3.2.1による) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 支持力比(CBR)試験 ※行わない ・行う(※乱した土 ・乱さない土) 締固め度の試験 ※行わない ・行う 砂の粒度試験 ※行わない ・行う
	7	畳敷き (19.6.2)	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種 表19.6.1 D種の場合の畳記号 ・KT-I ・KT-II ※KT-III ・KT-K ・KT-N	7	7 表示 (2.0.2.10)	・案内板 ・庁舎案内板(※標準詳細図による ・図示による) ・各階案内板(※標準詳細図による ・図示による) ・視覚障害者用案内板(※共通詳細図による ・図示による) ・案内札 ※標準詳細図による ・市販品 標準案内用記号 ※JIS Z8211による ・図示による 形状・その他 ※図示による ・庁舎文字 ※標準詳細図による ・切抜文字(・ステンレス製・黄銅製) ・簡文字(・ステンレス製・黄銅製) 文字数() 文字の大きさ(x) ・対人衝突防止表示 ・図示による ・非常用出入口 ・図示による 案内用記号はJIS Z8211による	2	2 路盤 (2.2.3.2～5)	22 2 路盤 (2.2.3.2～5)	路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による 路盤の材料 ※再生材クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ 締固め度の試験 ※行わない ・行う 砂の粒度試験 ※行わない ・行う
	8	せつこうボードその他 ボード及び合板張り (19.7.2)	天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外・第三種 パーティクルボード、繊維板、木質セメント板の原材料 合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木(間伐材を含む)等の再生資源である本質材料又は植物繊維の重量比割合割合が50%以上であること。(この場合、再生資材全体に占める体積比割合率が20%以下の接着剤、塗料等(パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの)を計上せず、に、重量比割合割合を計算することができるものとする)	8	8 ブラインド (2.0.2.12)	形式 ・成型ブラインド ・縦型ブラインド(防炎性能を有するもの) スラットの材種 アルミニウム合金製 ・アルミスラット・クロススラット スラットの種類 ※平ア式 ・コー式 ※1本操作コード式 スラットの幅(mm) ※25・35 ・75以上・100	3	3 支柱材 (2.3.3.2)	3 支柱材 (2.3.3.2)	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ) ・板状成形品 植込用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数等 ※図示 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・緑化用土、水抜き管、マルチング材等 ※図示
	9	壁紙張り (19.8.2)	建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの 施工箇所 品質(製造所) 防火性能の等級	9	9 燃アライニング (2.0.2.11)	燃焼成形ライニング材 適用安全使用温度 ※400℃ ・650℃ キャスタブル耐火材 工法 ・こて押さえ 最高温度 ※400℃ 製造所	4	4 屋上緑化 (2.3.5.2～3)	4 屋上緑化 (2.3.5.2～3)	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ) ・板状成形品 植込用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数等 ※図示 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・緑化用土、水抜き管、マルチング材等 ※図示
	10	断熱材打込み工法 (19.9.2)	断熱材の種類 ※押出法ポリスチレンフォーム保温板2種 b 厚さ ※25mm ・押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 b(土間下) 厚さ ※25mm ・硬質ウレタンフォーム保温板1種2号 厚さ ※20mm ・フェノールフォーム保温材A種 厚さ ・ 断熱補修材 ・断熱材と同材 ※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による)	10	10 カーテン (2.0.2.14)	カーテン 施工箇所 きれ地の品質等(製造所) ひだの種類 開閉形式 カーテン操作方式 ・内引き ・引分 ※手動 ・電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 付属金物	3	3 アスファルト舗装 (2.2.4.2～6)	3 アスファルト舗装 (2.2.4.2～6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト 骨材 ※砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 ※アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物等の種類 ※表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・基層 ・粗粒度アスファルト混合物(20) ・カー舗装 種類 ※表層に着色した加熱アスファルト混合物 ・表層の上に着色塗料又は樹脂系混合物 ・表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装 カラー舗装に添付する着色骨材 ・有色骨材(材質< >) ・着色骨材(材質< >)
11	断熱材現場発泡工法 (19.9.3)	ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外・第三種 断熱材の種類 ※A種 ・B種1 厚さ ※25・30 施工箇所 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所 ・図示による	11	11 ロールスクリーン (2.0.2.13)	材質 遮光性能 品質 操作方法 ・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	4	4 コンクリート舗装 (2.2.5.2～6)	4 コンクリート舗装 (2.2.5.2～6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による 滑接金網 ※使用する(150X150X6φ) ・使用しない コンクリート版の厚さの試験 ※行わない ・行う	
12	断熱材の原材料 (19.9.2～3)	グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で90%以上であること ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で85%以上であること 発泡断熱材：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること	12	12 カーテンレール (2.0.2.14)	カーテン 施工箇所 きれ地の品質等(製造所) ひだの種類 開閉形式 カーテン操作方式 ・内引き ・引分 ※手動 ・電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 付属金物	5	5 カラー舗装 (2.2.6.2～6)	5 カラー舗装 (2.2.6.2～6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による 車道部の基層 ・有 ・無 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う	
20 ユニット及びその他の工事	1	フリーアクセスフロア (2.0.2.2)	施工箇所 ・ 構造 ・パネル構造 ・溝構造 耐震性能 ・1.0G・0.6G ・1.0G・0.6G 耐荷重性能 ※3000N・5000N ※3000N・5000N パネル寸法(mm) ・ 高さ(mm) ・ 床表面仕上げ材の材質 ※タイルカーペット ※タイルカーペット ・帯電防止床タイル ・帯電防止床タイル ボーター部及びスロープ ※メーカー仕様 ・図示による 表面仕上げ材の品質・性能は、標準仕様書19章内装工事による	14	14 屋外掲示板	本体材質 ※ステンレス製 照明器具 ・有り ・無し 掲示板面材質 ・ 施設設置 ※有り ・無し 形状寸法 ※図示による	6	6 透水性アスファルト舗装 G (2.2.7.2～6)	6 透水性アスファルト舗装 G (2.2.7.2～6)	舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	特記仕様書(4/4)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	----	図面番号	4 / 10
事業者名	大熊町		

発電所建屋図(1/3) S=1:30

(外形図及び断面図)

参考図

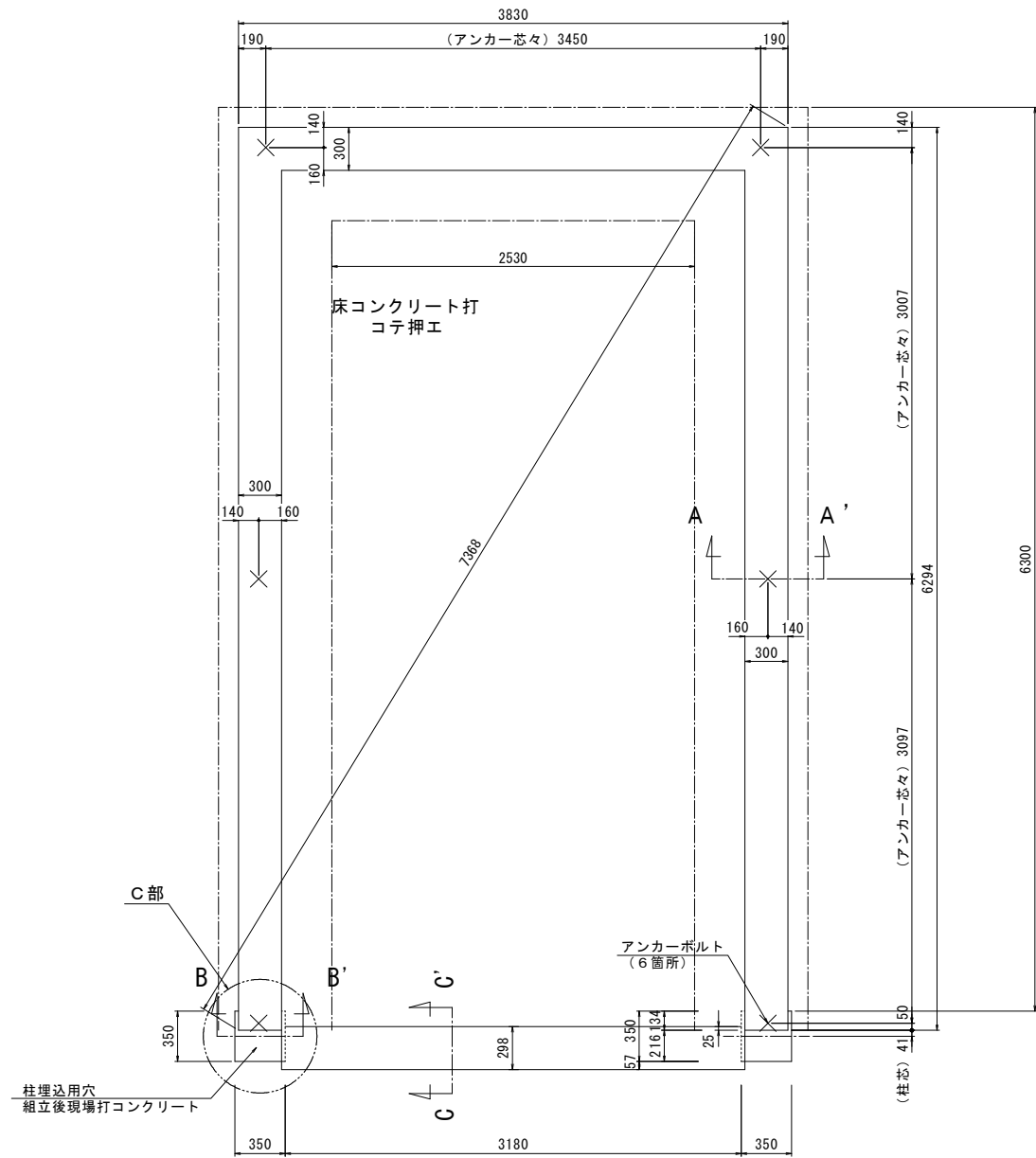


【注記】参考図
 1. 機種名：GRN-3662J (豪雪型)
 高基礎仕様
 稲葉製作所同等品以上

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	発電所建屋図(1/3)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/30	図面番号	5 / 10
事業者名	大熊町		

発電所建屋図(2/3) S=1:25
(基礎図)

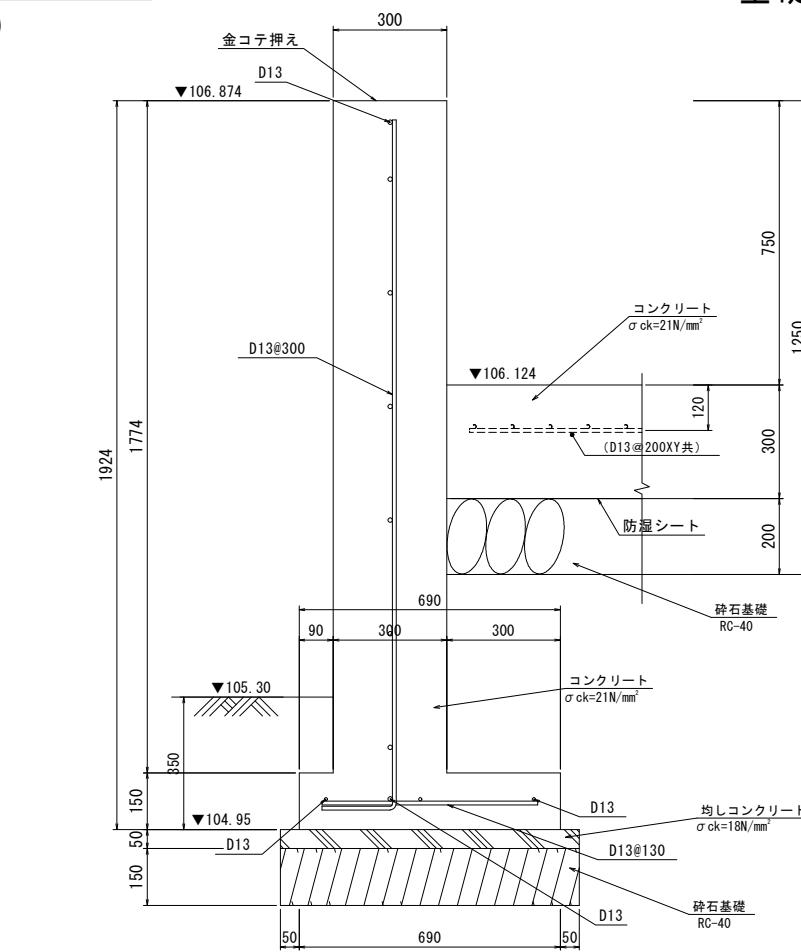
基礎平面図 S=1:25



注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

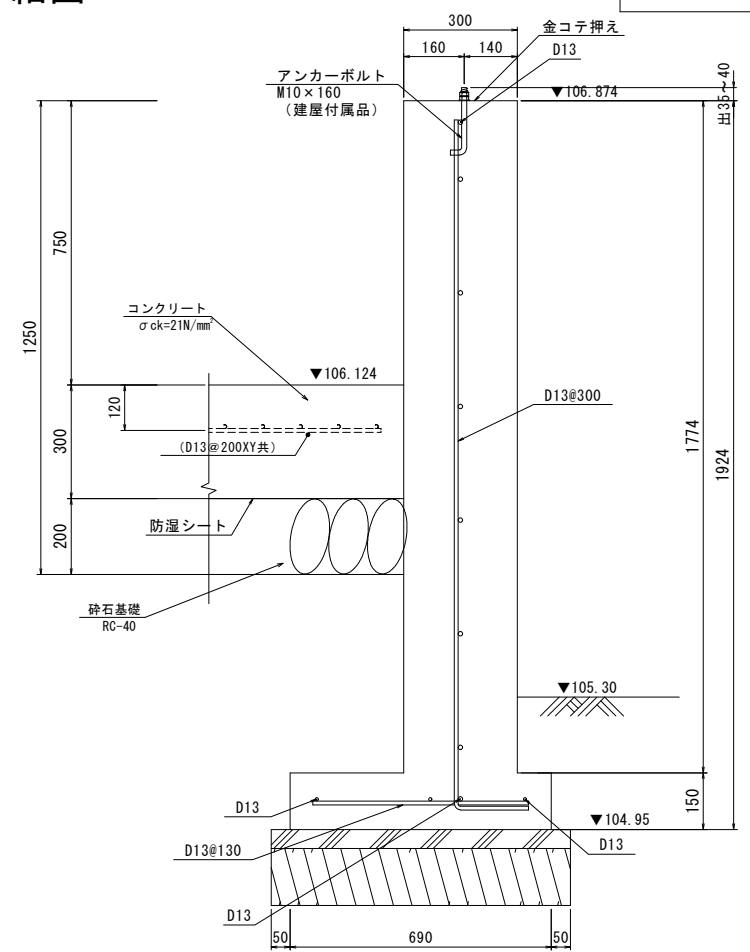
×・・・アンカーボルト位置を示す。

基礎断面

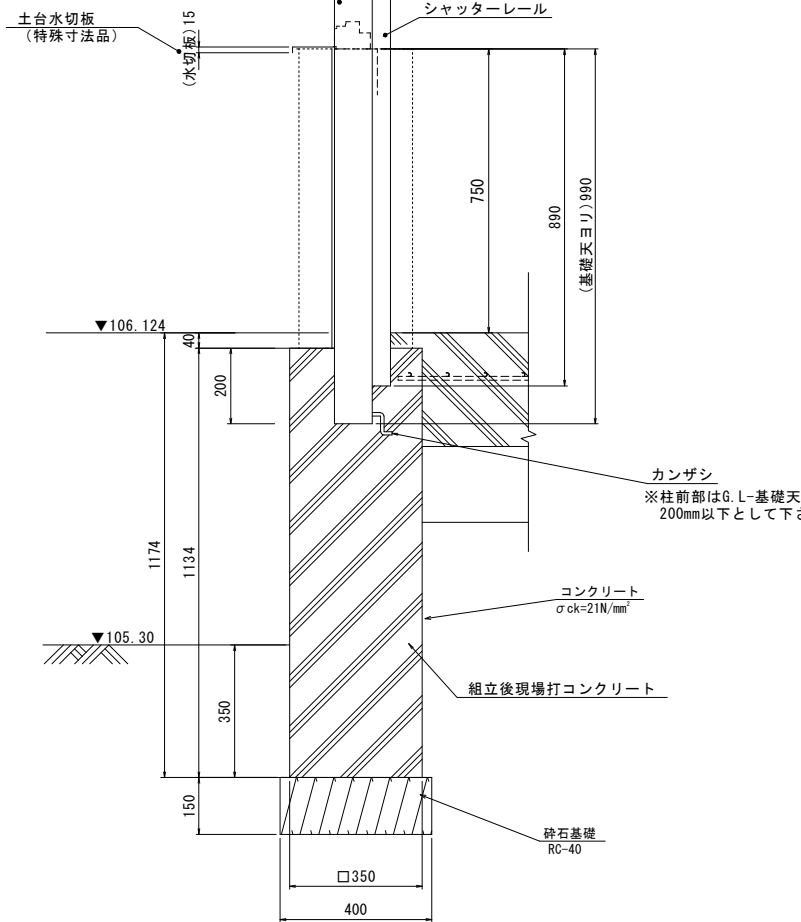


基礎詳細図 S=1:10

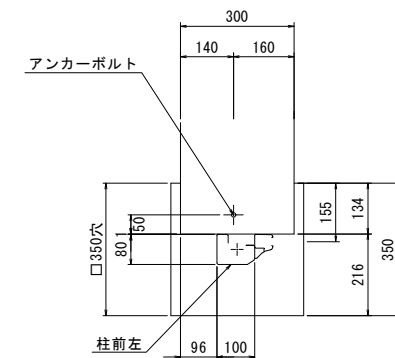
A-A' 断面



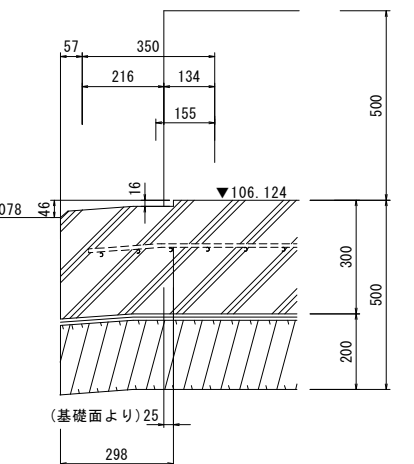
柱前左 B-B' 断面



C部



入口床面コンクリート仕上断面 C-C' 断面

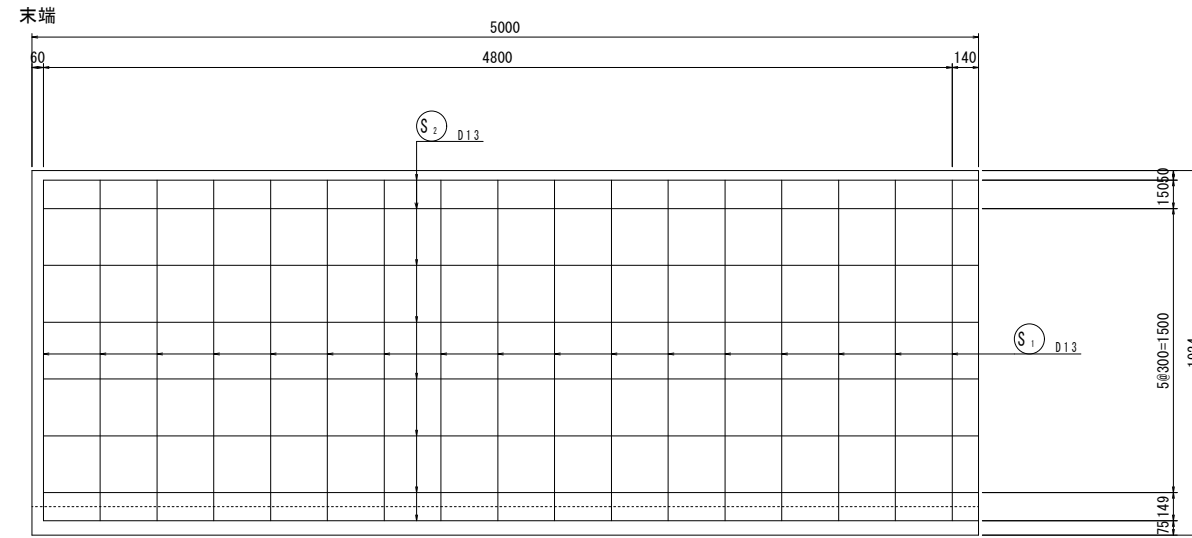


工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	発電所建屋図(2/3)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/25	図面番号	6 / 10
事業者名	大熊町		

発電所建屋図(3/3) S=1:20

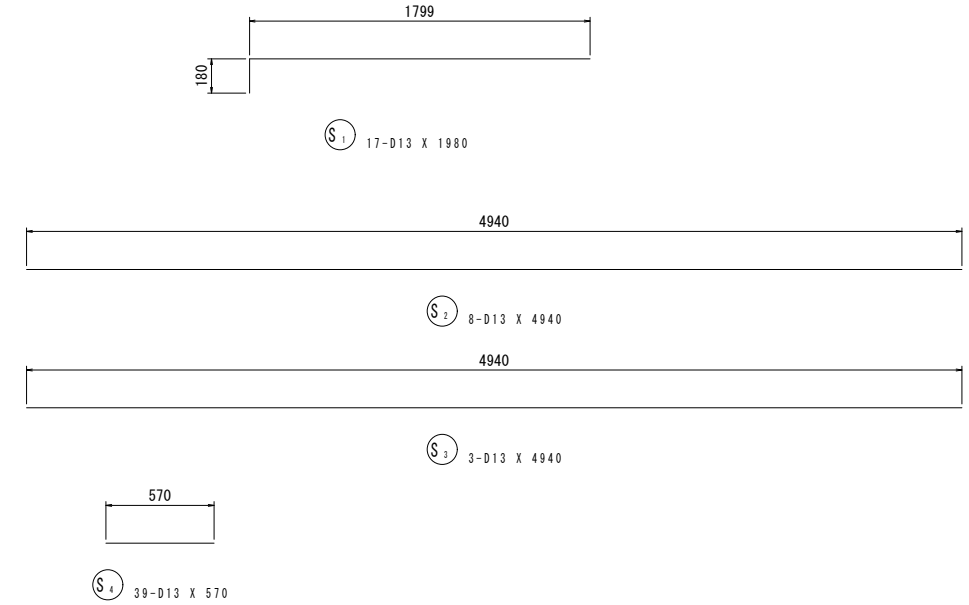
(基礎図 配筋図)

側面図

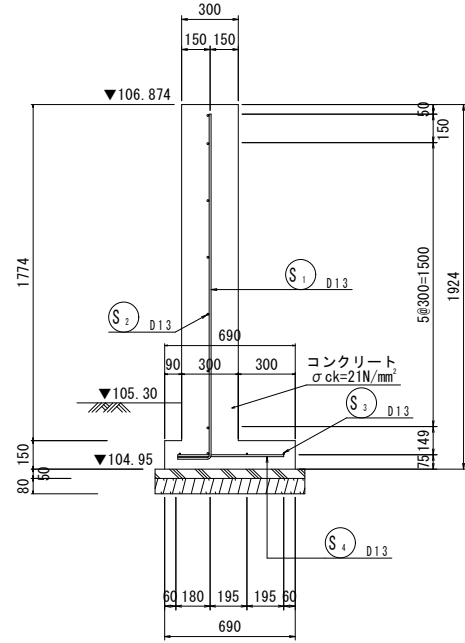


加工図

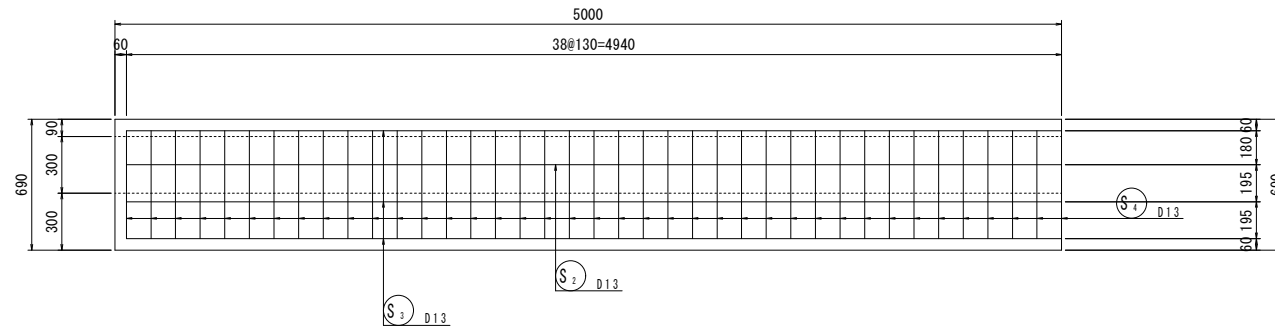
(曲がり部分、重ね接手を除く5m当り及び400A配管貫通部を除く)



正面図



下部平面図



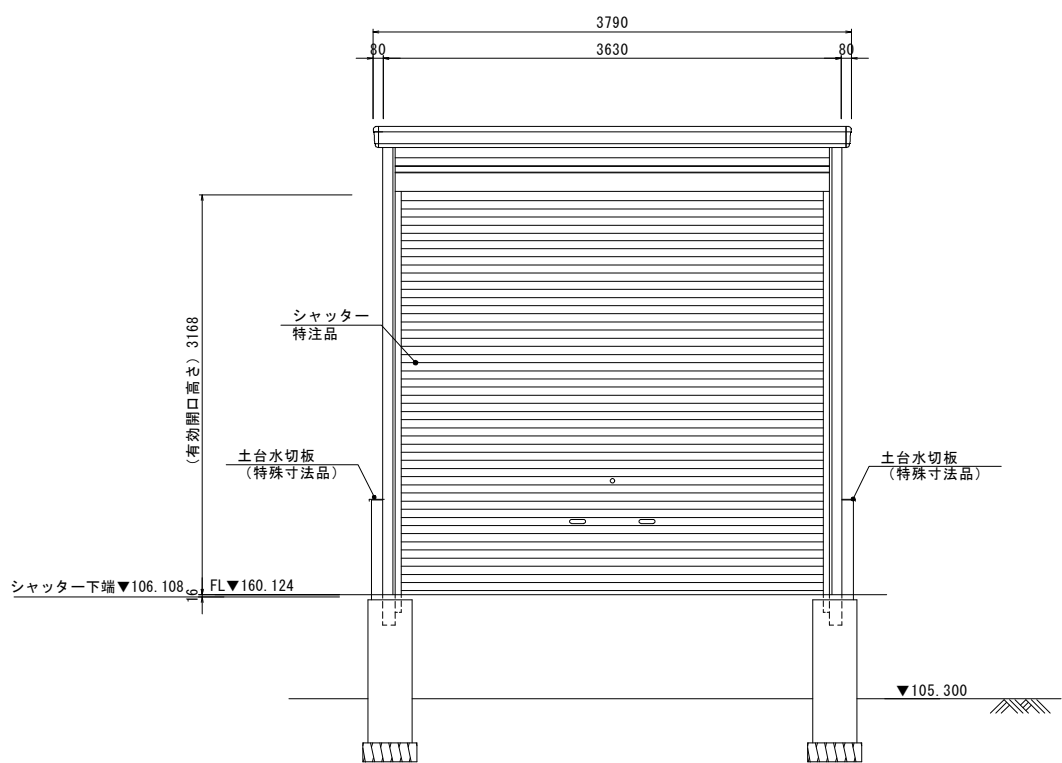
鉄筋質量表

5m当り

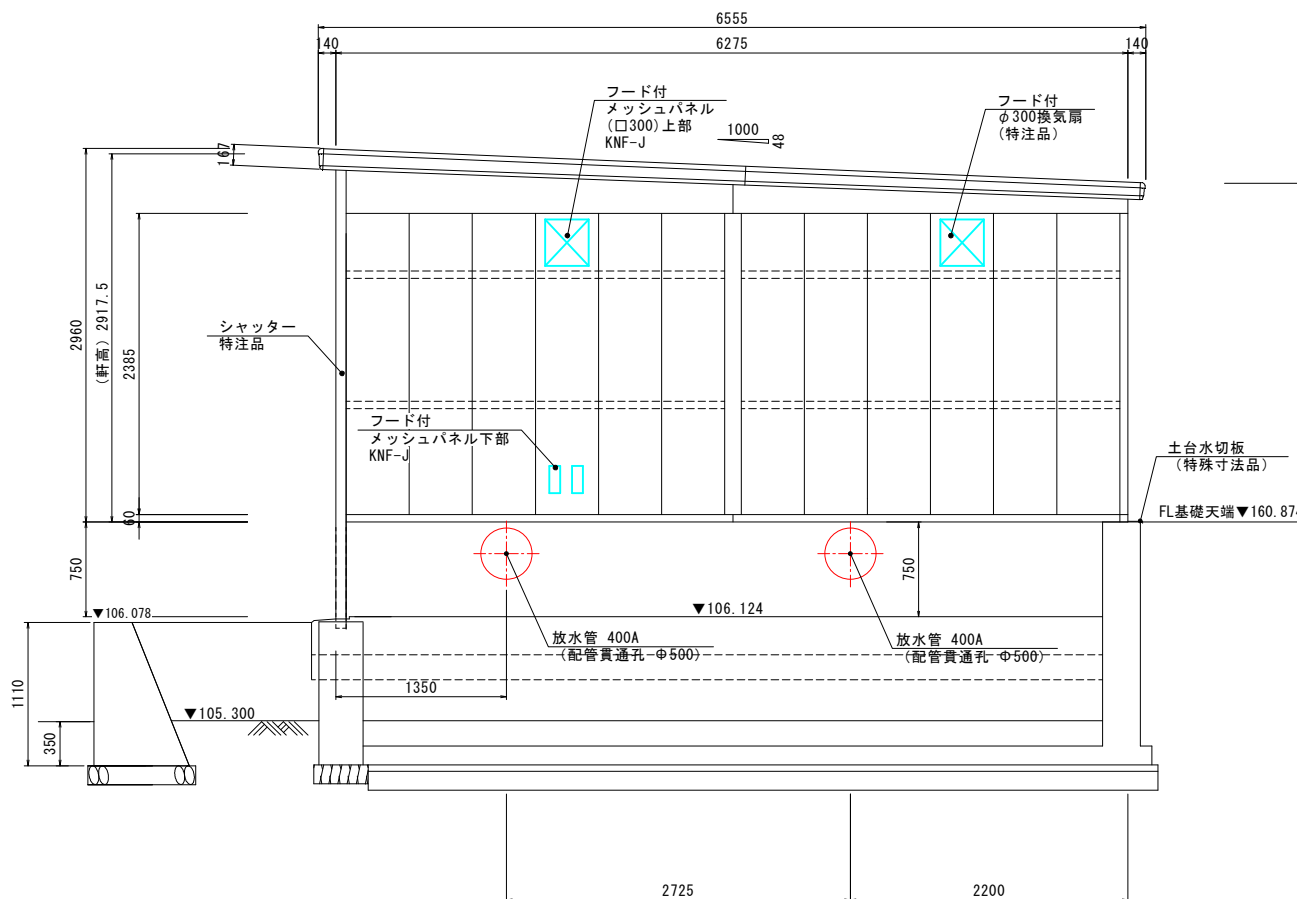
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S ₁	D13	1980	17	0.995	1.97	33	
S ₂	D13	4940	8	0.995	4.92	39	
S ₃	D13	4940	3	0.995	4.92	15	
S ₄	D13	570	39	0.995	0.567	22	
						109	
合計 D13						109 kg	
総質量						109 kg	

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	発電所建屋図(3/3)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/20	図面番号	7 / 10
事業者名	大熊町		

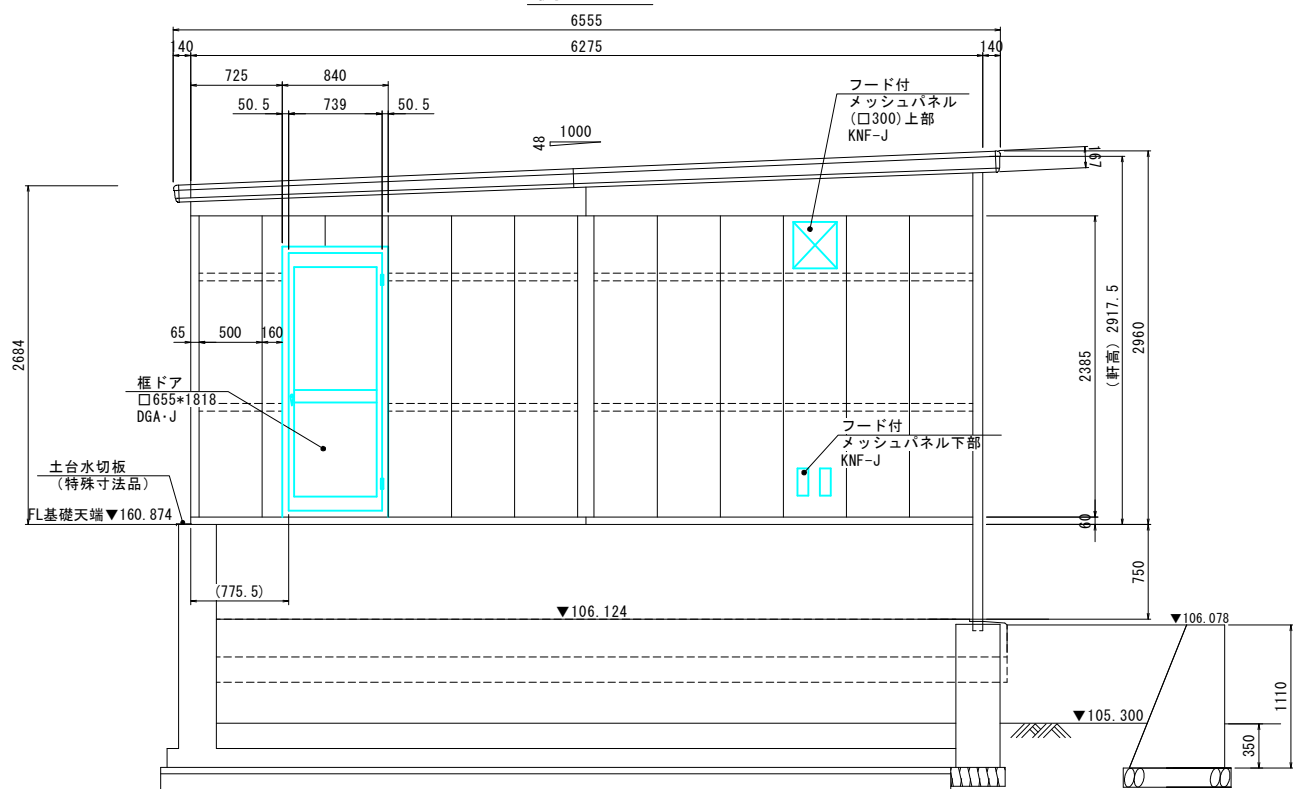
正面図



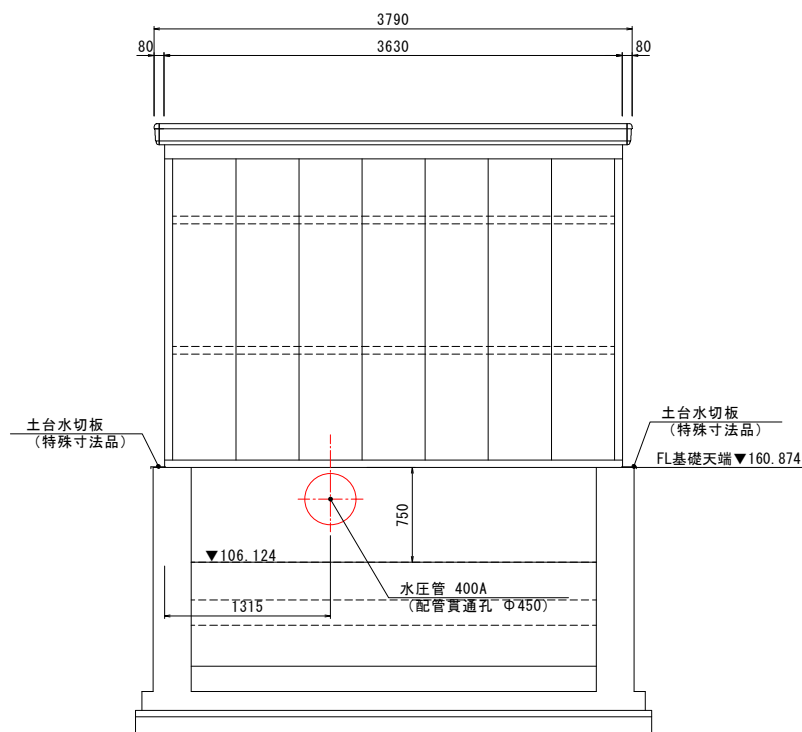
側面図



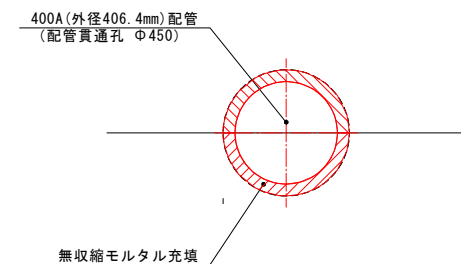
側面図



背面図



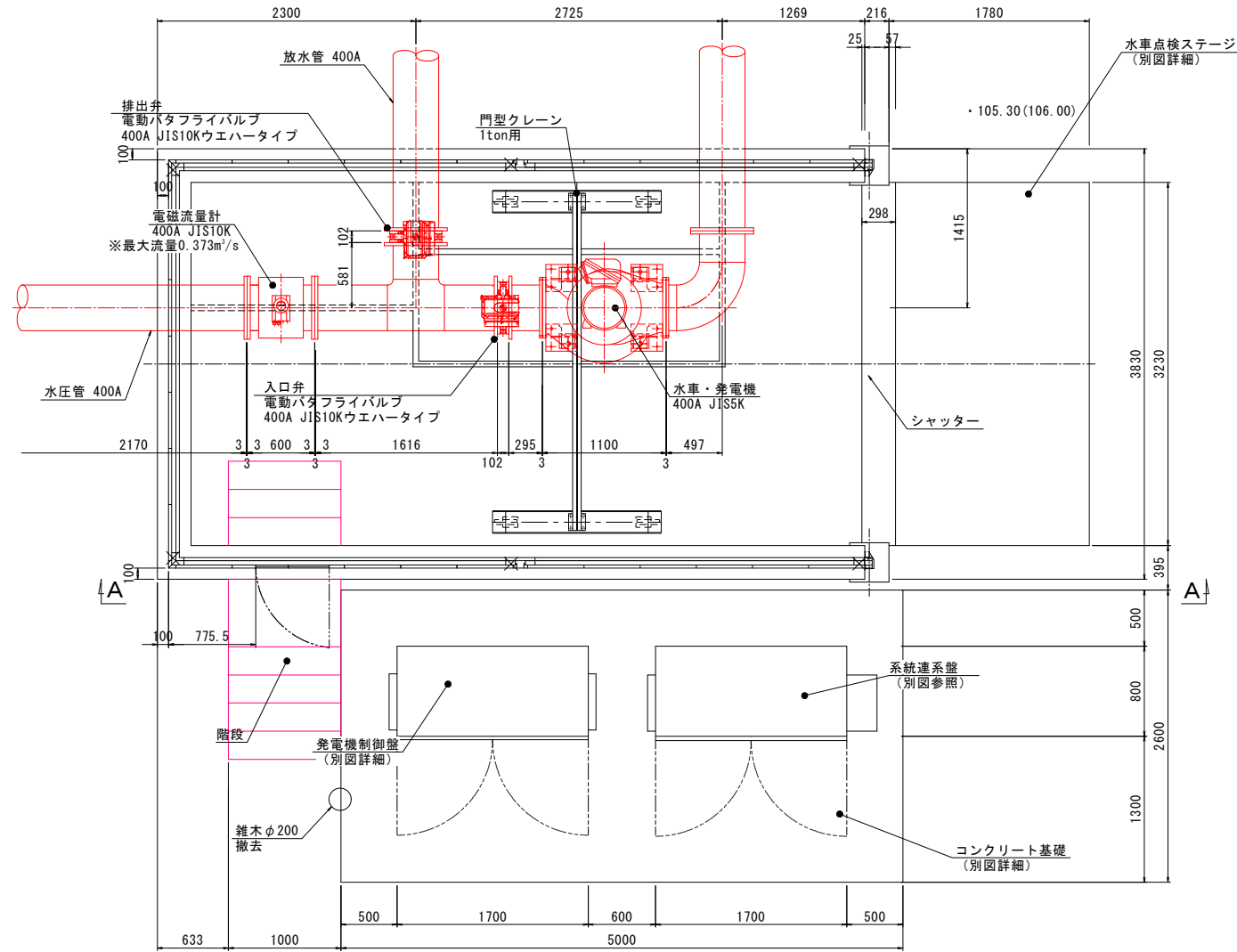
管貫通部詳細 S=1:15



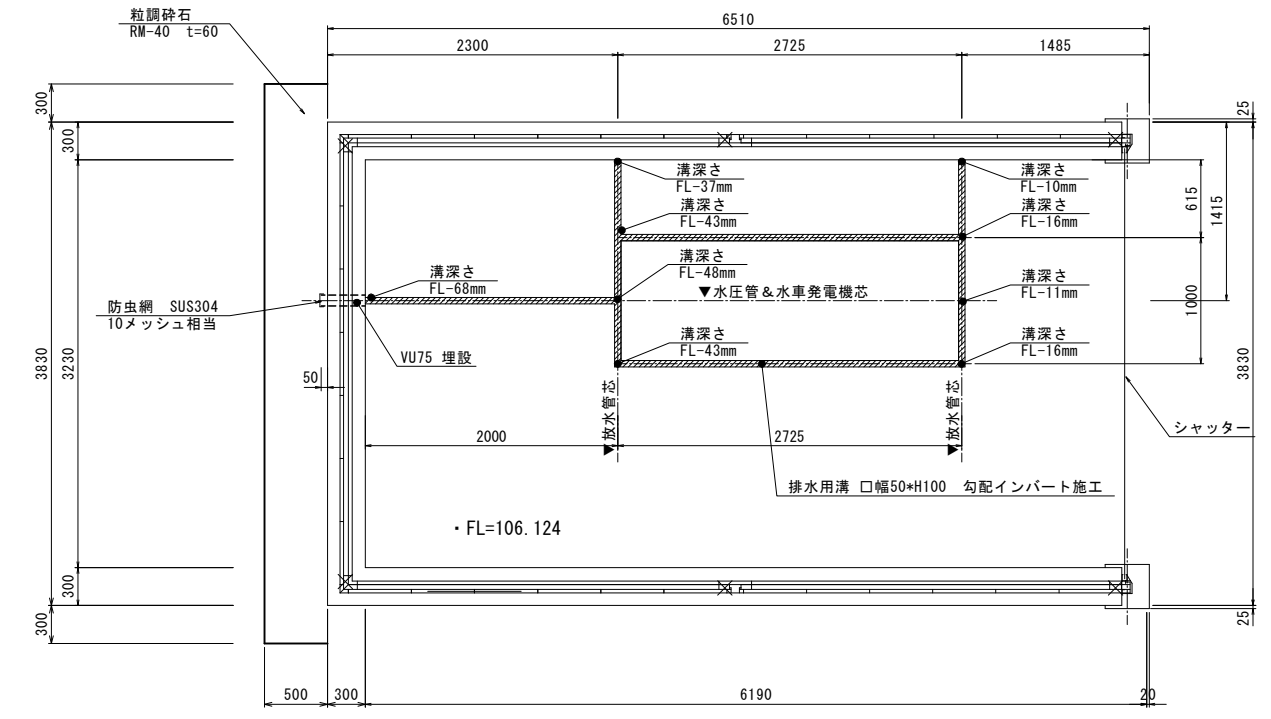
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	発電所建屋立面図		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/30	図面番号	8 / 10
事業者名	大熊町		

発電機室一般図 S=1:30

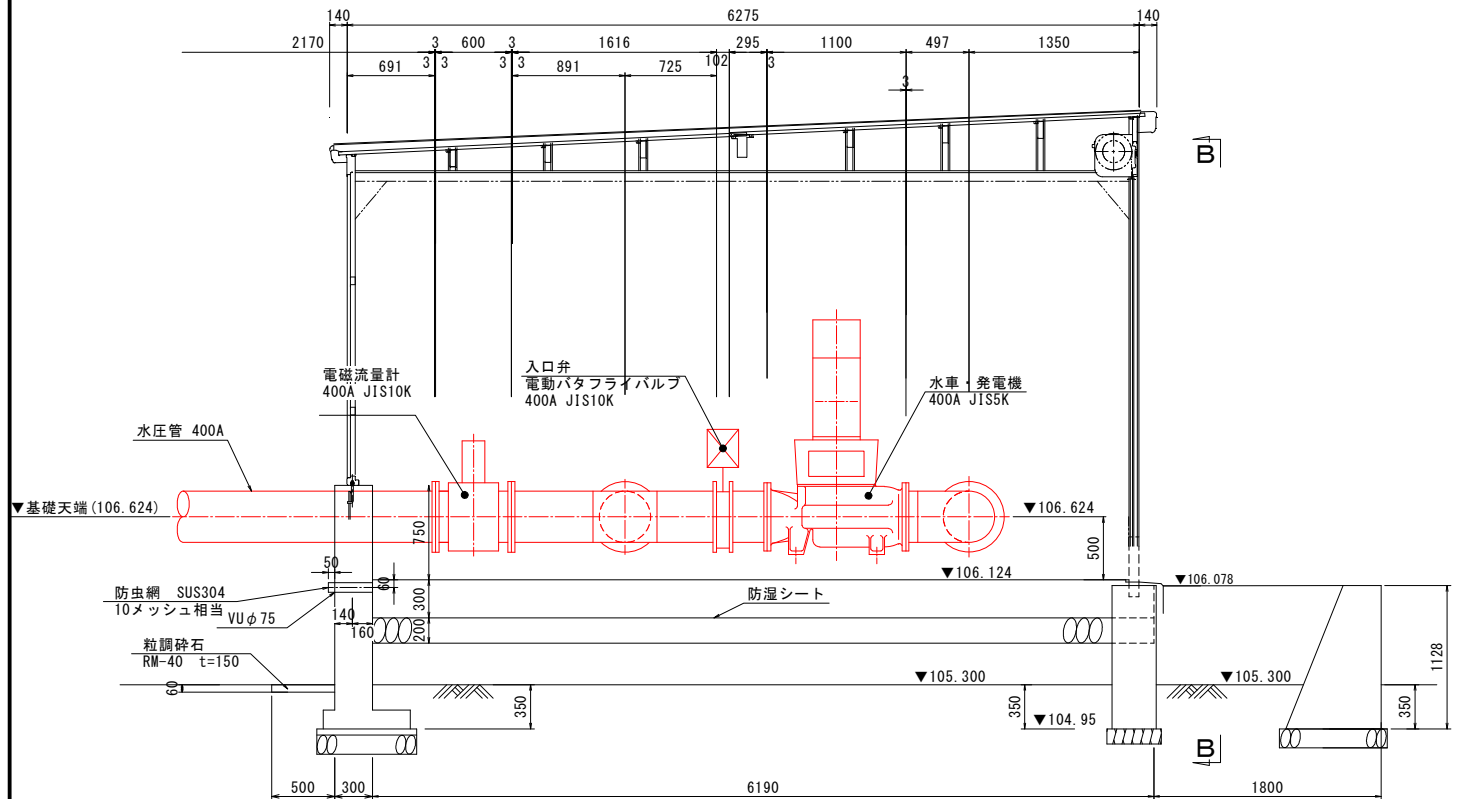
平面図



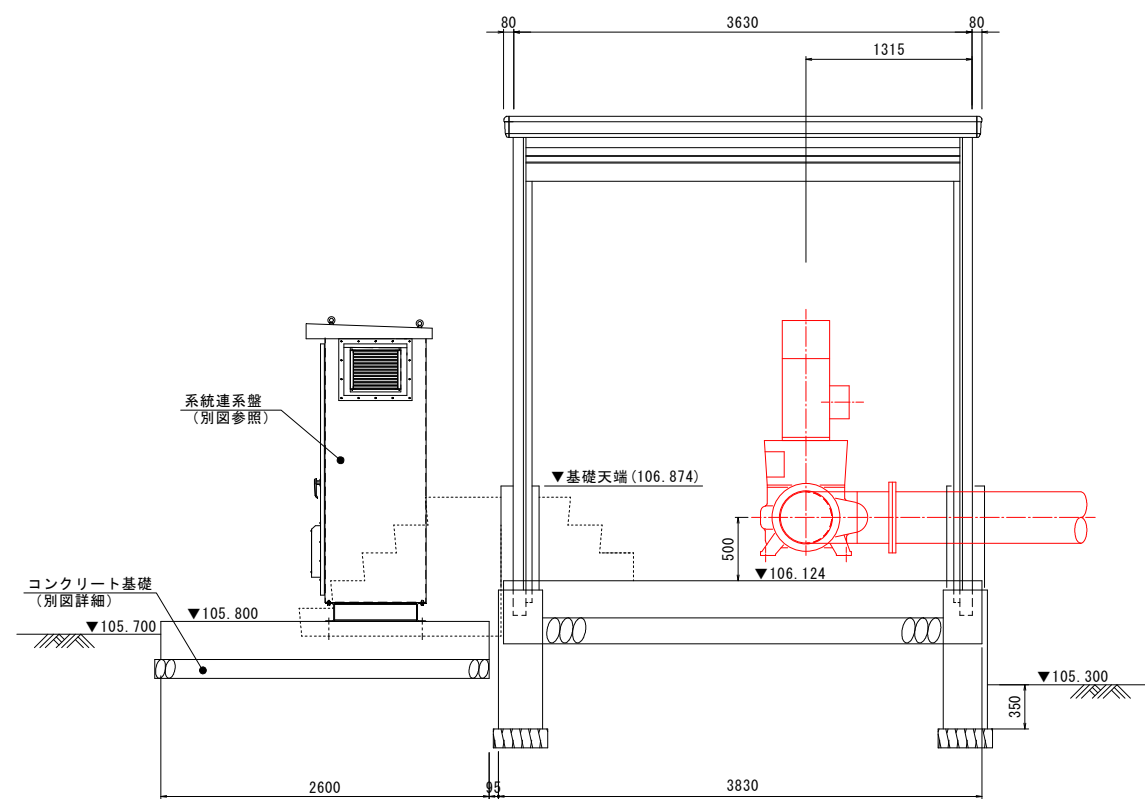
結露水排水溝位置図



A - A



B - B



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	発電機室一般図		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/30	図面番号	9 / 10
事業者名	大熊町		

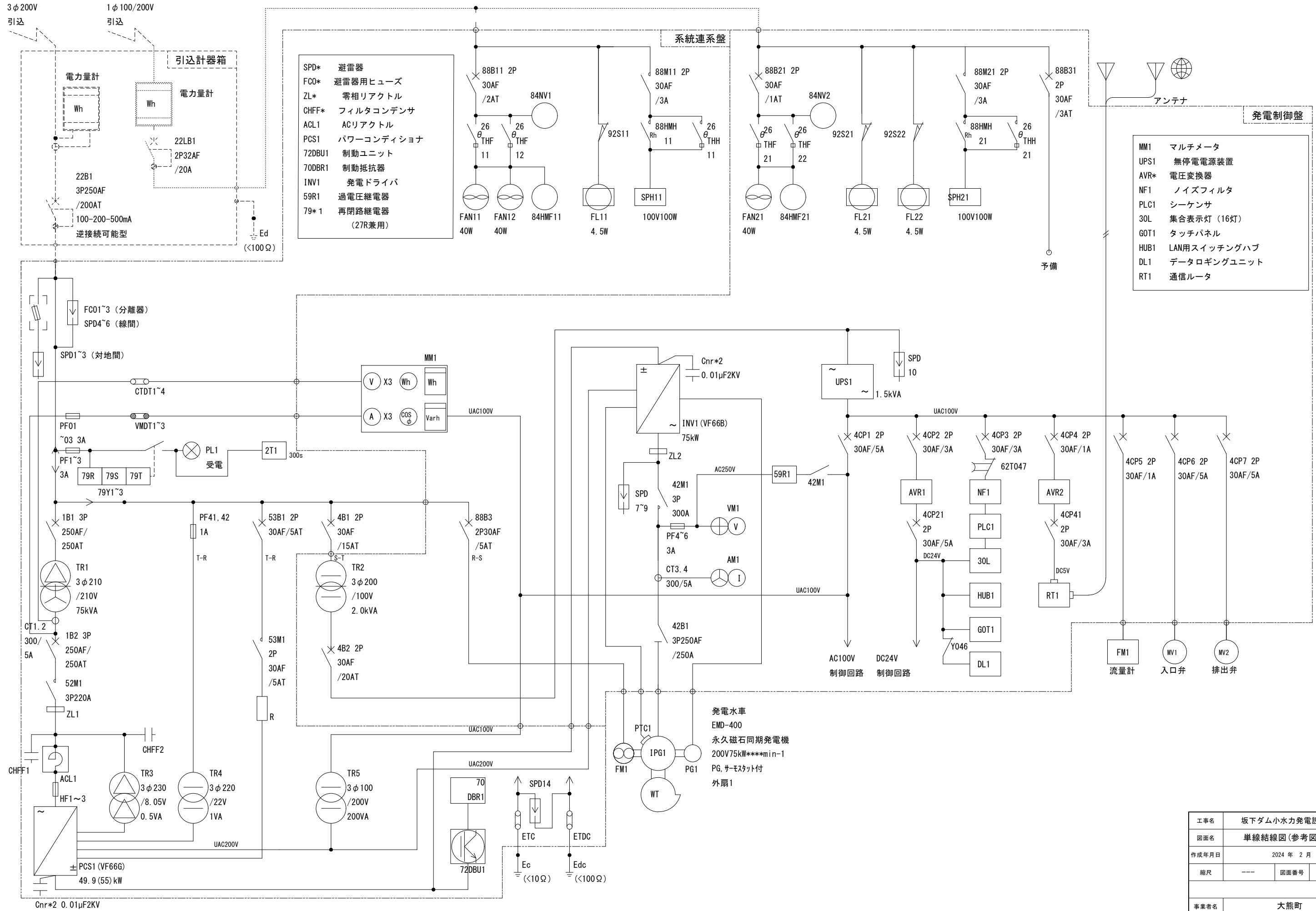
固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業の設備		
再生可能エネルギー 発電設備	区分	水力発電設備
	名称	坂下ダム小水力発電所
	設備ID	D××××××15
	設置場所	福島県双葉郡富岡町大字上手岡字茂手木 160-2 他
	出力	49.9kW
再生可能エネルギー 発電事業者	氏名	大熊町役場 大熊町長 吉田 淳
	住所	福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717
	連絡先	0240-23-7597
保守点検責任者	氏名	XXXXXXXXXX XXXXXX
	連絡先	××-××××-××××
運転開始年月日		(西暦) 2025年×月○日

25cm以上

35cm以上

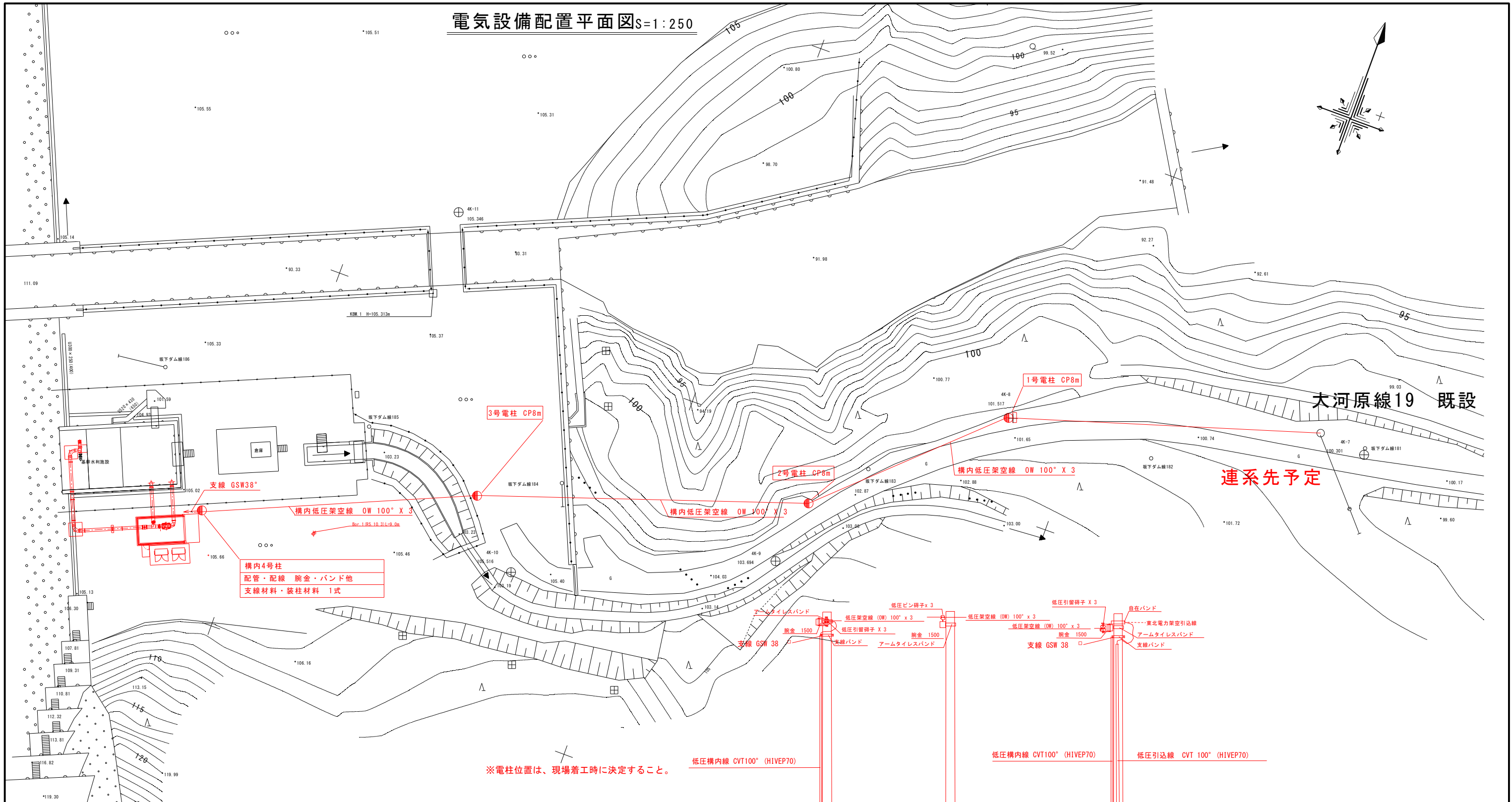
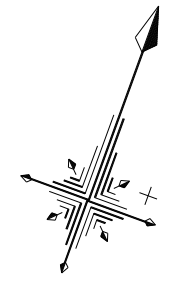
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	標識		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	---	図面番号	10 / 10
事業者名	大熊町		

単線結線図



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	単線結線図(参考図)		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	---	図面番号	1 / 7
事業者名	大熊町		

電気設備配置平面図 S=1:250

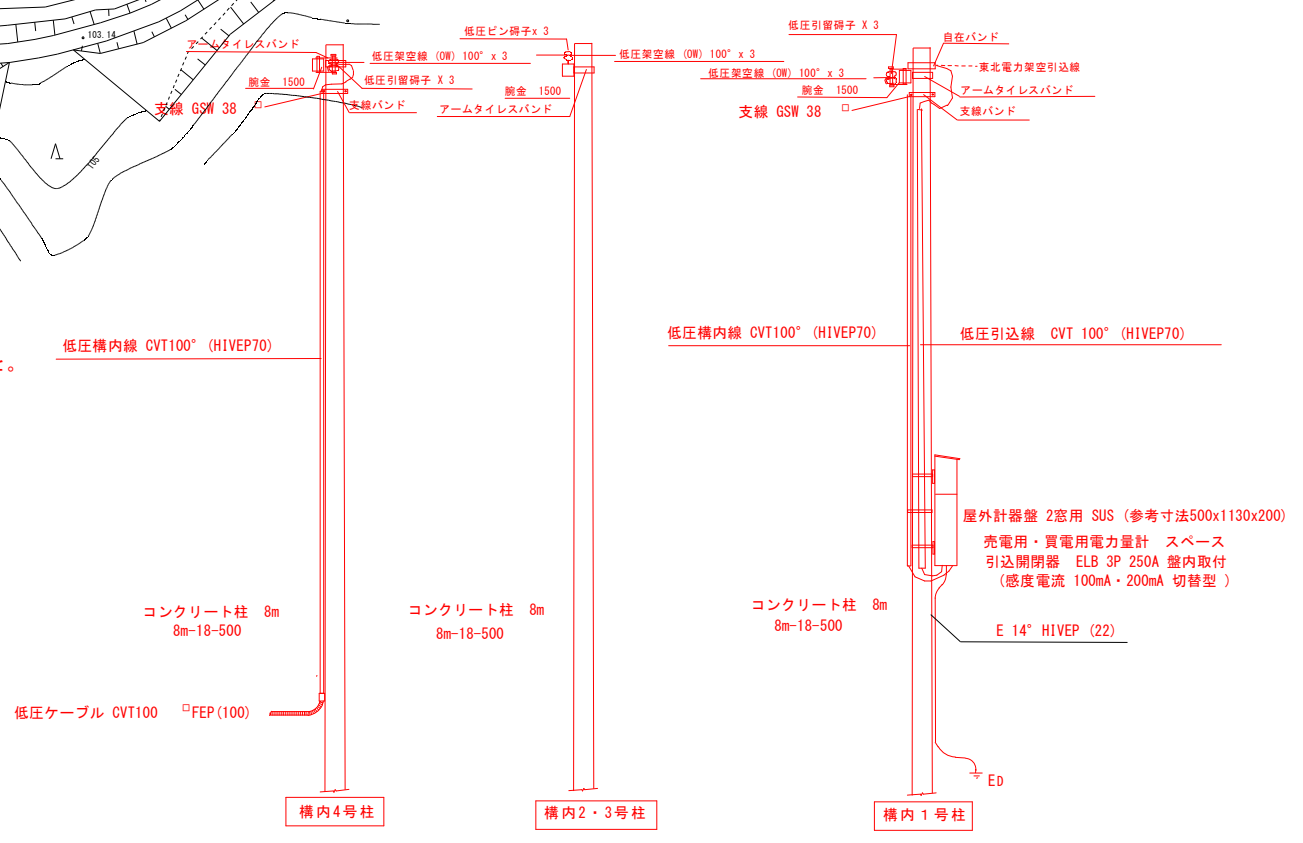


大河原線19 既設

連系先予定

	電柱名	住所	地権者	地目
既設	大河原線19	大熊町大字大川原字手の倉188番	石田 敬宗 他31名	原野
新設	構内1号電柱	大熊町大字大川原字手の倉	大熊町	道
	構内2号電柱	大熊町大字大川原字手の倉	大熊町	道
	構内3号電柱	富岡町大字上手岡字茂手木160-2	福島県	ため池
	構内4号電柱	富岡町大字上手岡字茂手木160-2	福島県	ため池

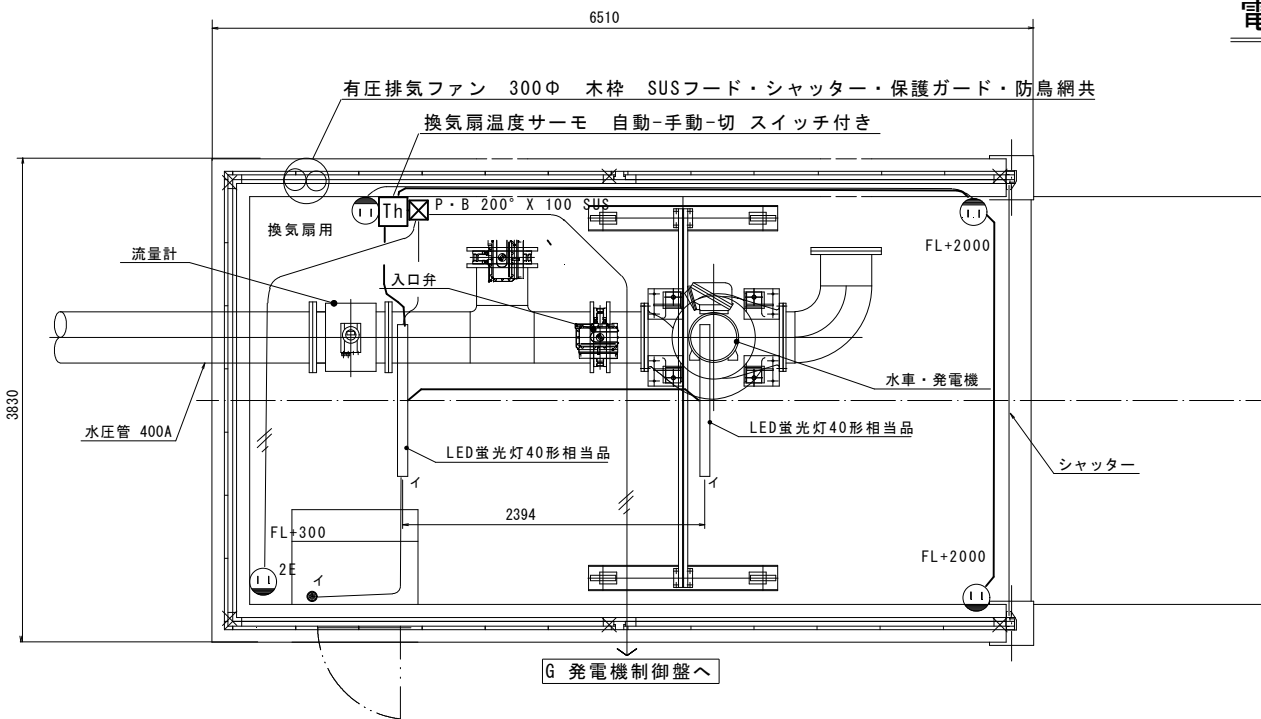
※電柱位置は、現場着工時に決定すること。



構内引込柱装柱図

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	電気設備配置平面図		
作成年月日	2024年2月		
縮尺	1/250	図面番号	2 / 7
事業者名	大熊町		

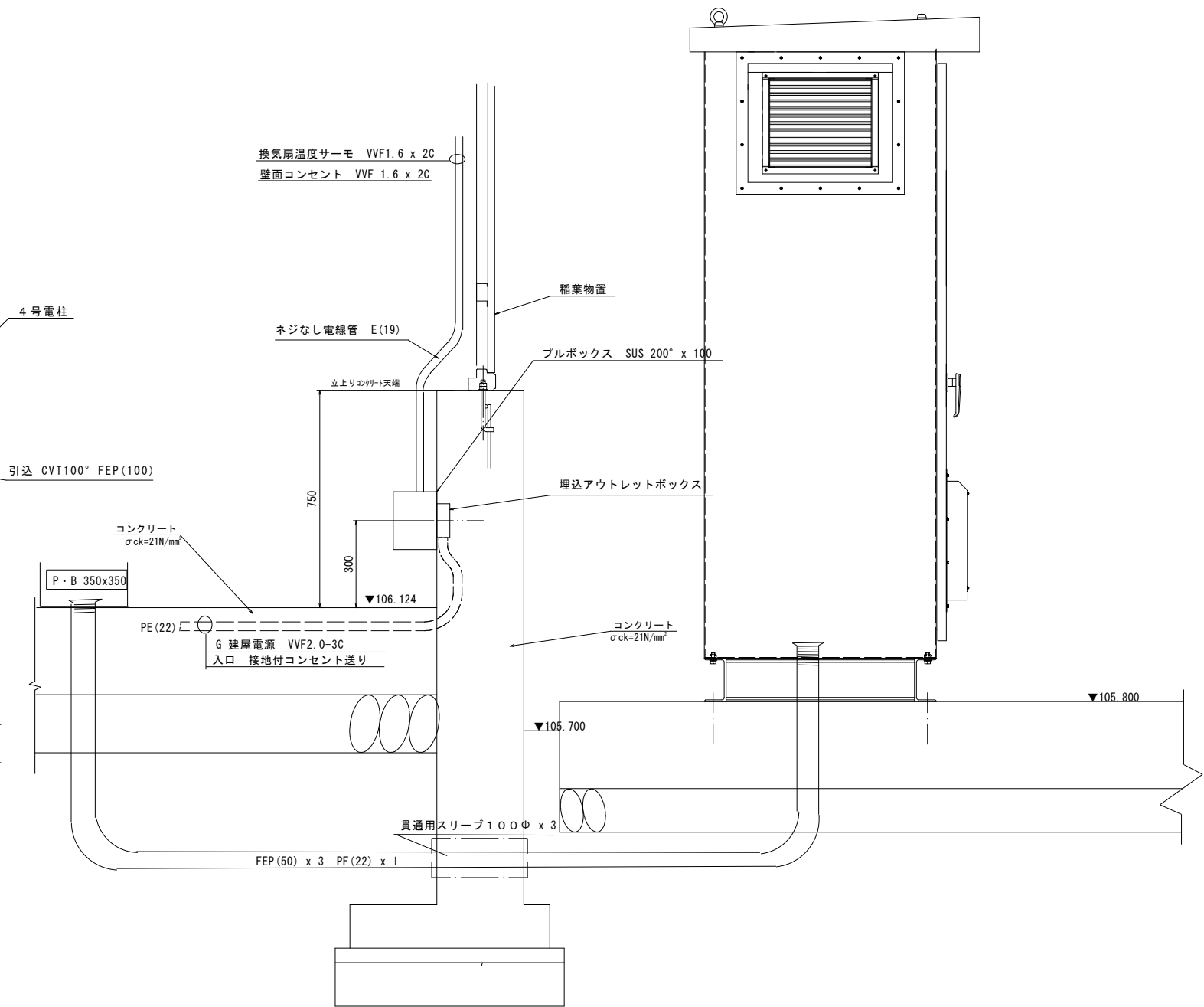
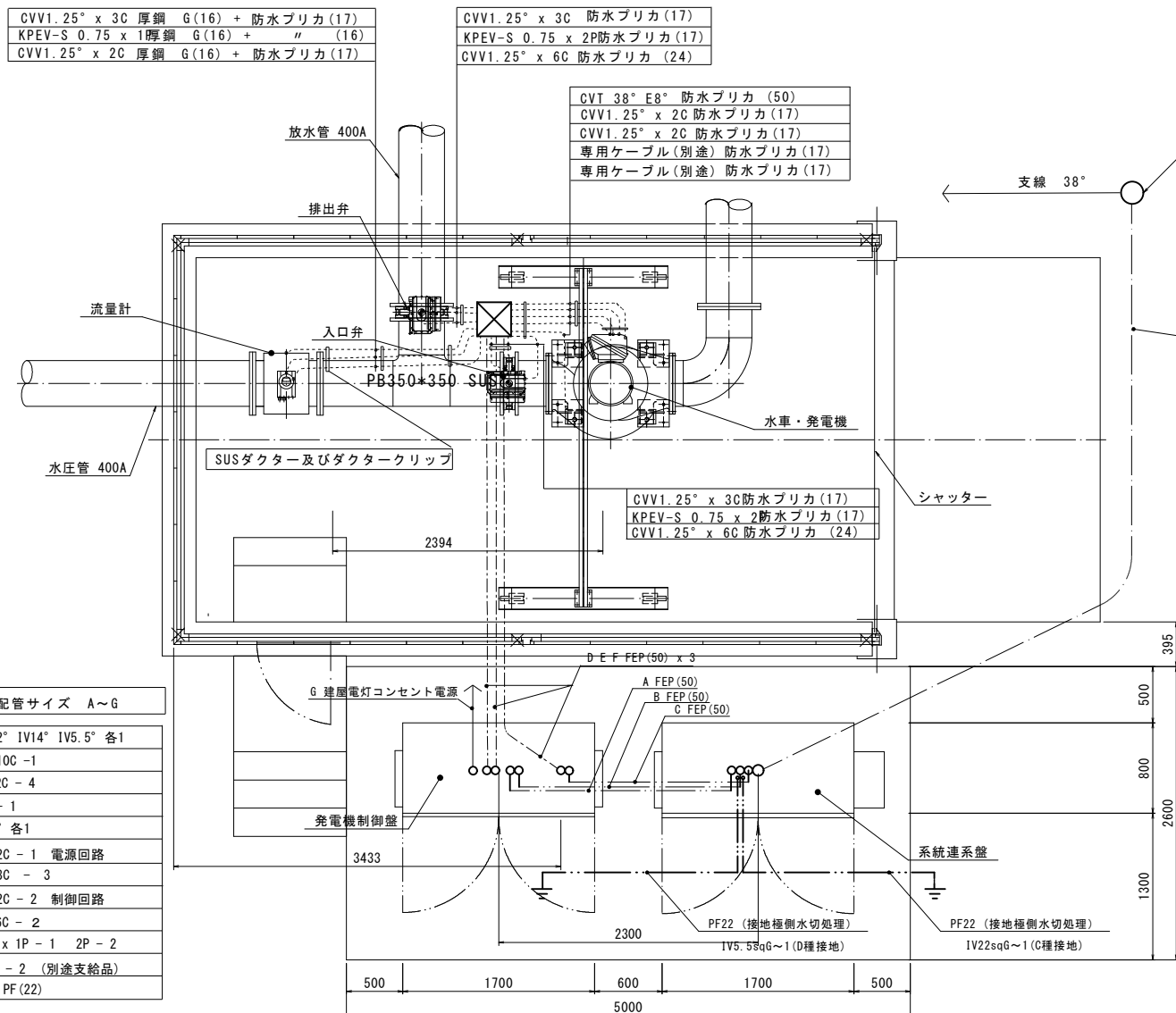
電気施工平面図 S=1:30



記号	適用
—	VVFケーブル配線 VVF1.6-2C 壁面立ち上げ及び保護が必要な場所は、ネジなし E(19) で保護する事。
—	土間コンクリート埋込配管 VVF2.0-3C PF(22)
⊕ 2E	埋込型接地付コンセント 2P15Ax2 壁面取付・ボックス共 ⊕ 埋込型コンセント2P15Ax1 ボックス共
●	埋込型スイッチ 1P15A ボックス共 壁面露出立下げは電線管(CP)で保護のこと。
⊠	プルボックス SUS 200° x 100 - 1 350° x 350 - 1
⊙	有圧換気扇 参考型番 パナソニック FY-30GSU3 フード FY-HMX303 木柵 風圧シャッター・ガード・防鳥網共

照明器具表

記号	仕様	参考型番 (パナソニック)
A420	LED反射笠付 ランプ 5200lm x 1灯 チェーン吊具付	XLX459KEN LE9 一般タイプ・ツリグXFC101WW



盤廻り配線・配管サイズ A~G

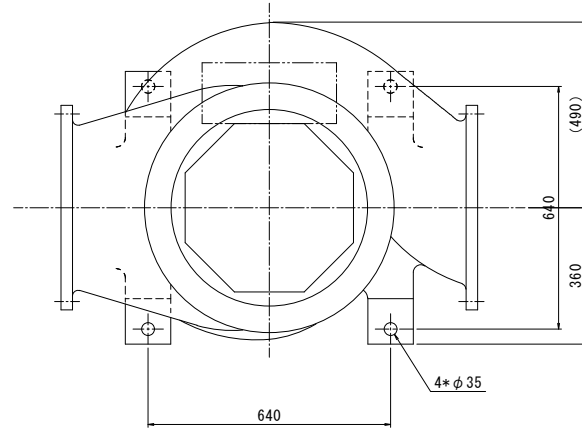
A	CVD 60° IV22° IV14° IV5.5° 各1
B	CVV1.25° x 10C - 1
C	CVV1.25° x 2C - 4
D	CV 2° x 2C - 1
E	CVV1.25° x 2C - 1 電源回路
	CVV1.25° x 3C - 3
F	CVV1.25° x 2C - 2 制御回路
	CVV1.25° x 6C - 2
	KPEV-S 0.75 x 1P - 1 2P - 2
	専用ケーブル - 2 (別途支給品)
G	VVF2.0 x 3C PF(22)

工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	電気施工平面図		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/30	図面番号	3 / 7
事業者名	大熊町		

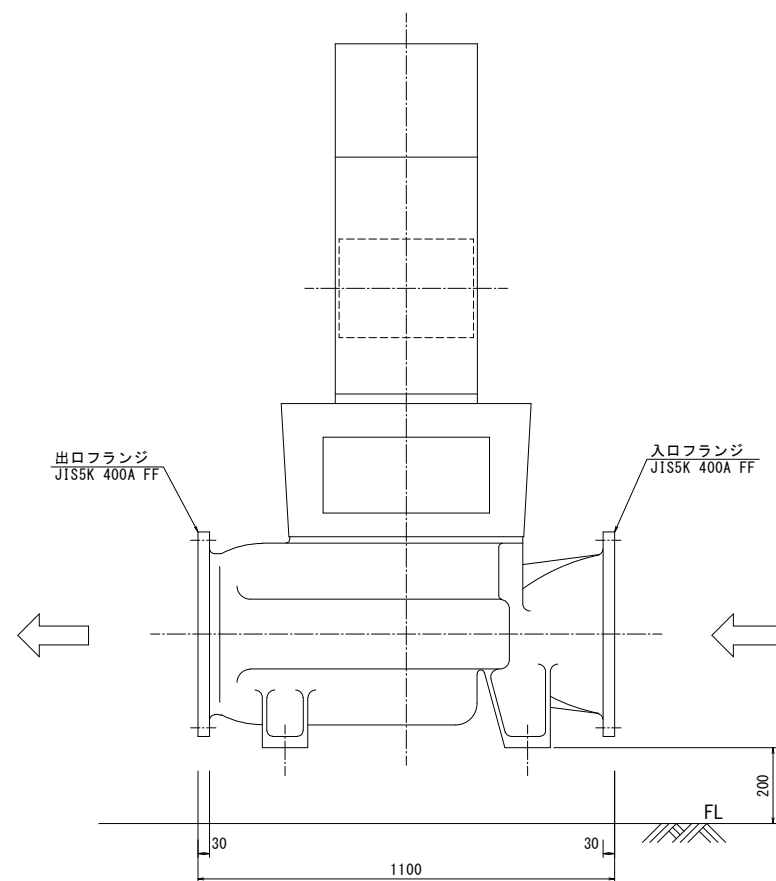
参考図

※ () は参考寸法とする

平面図

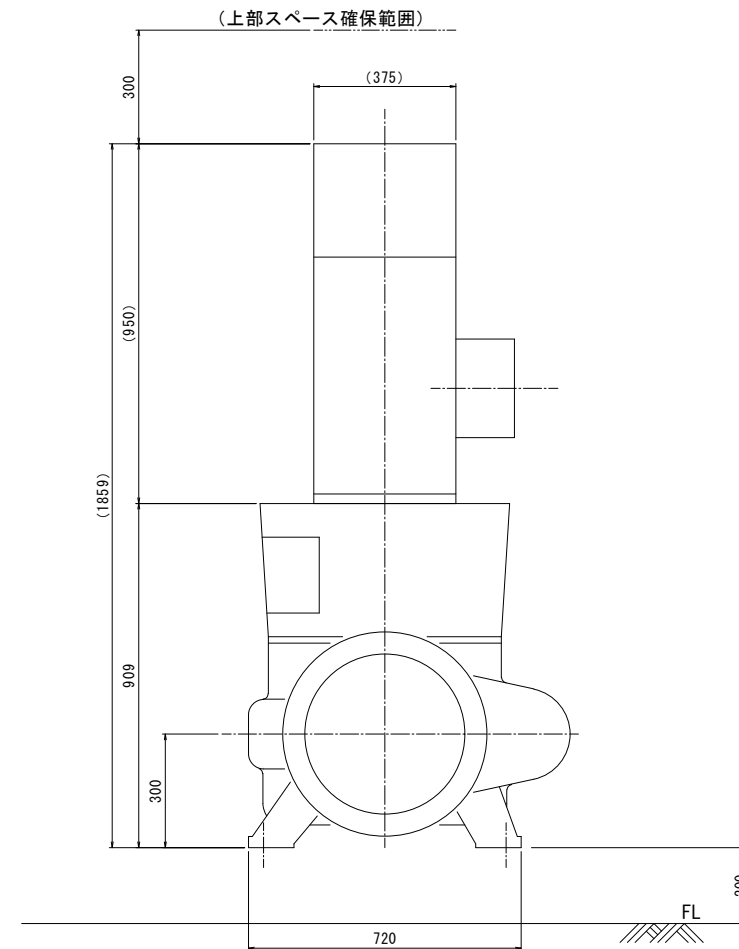


正面図



FLから水車ベースまでの架台は、
水車範囲（詳細計画は、施工時に実施となる。）

側面図



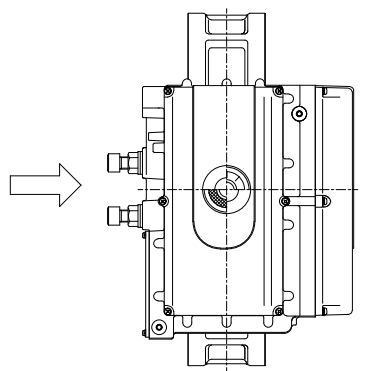
工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	水車・発電機外形図(参考図)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/10	図面番号	4 / 7
事業者名	大熊町		

入口弁・排出弁 電動バタフライバルブ参考図

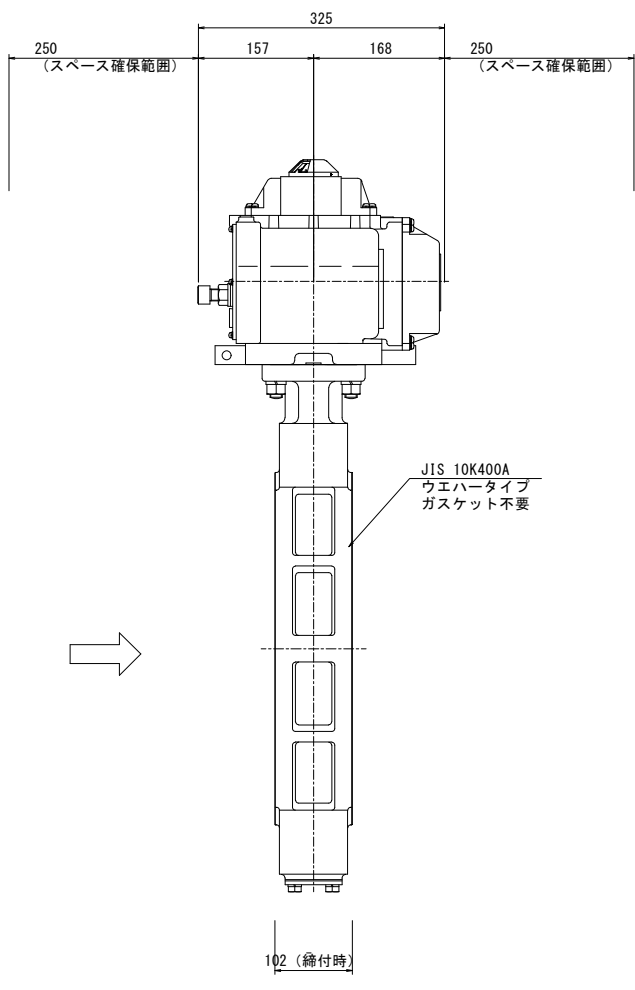
S=1:5

口径：400mm

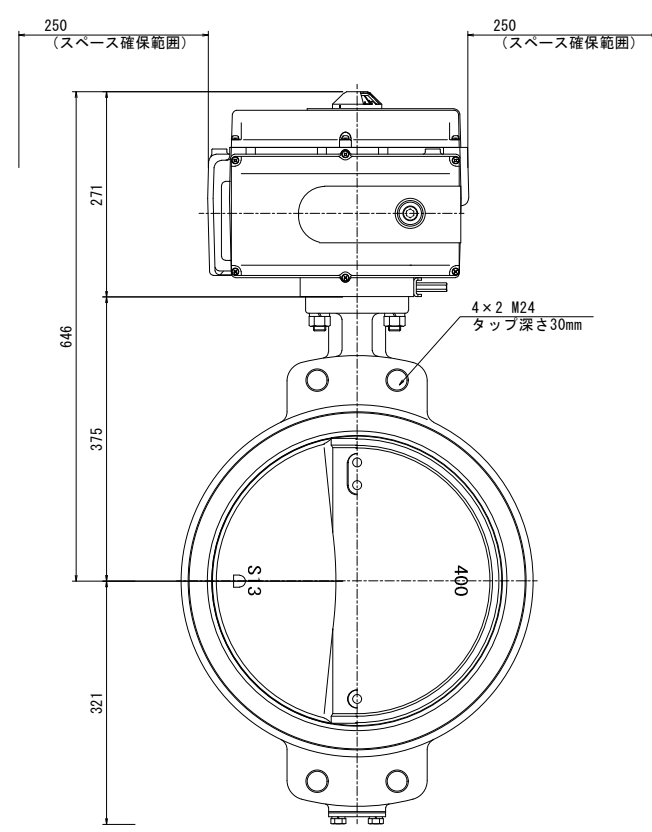
平面図



正面図



側面図

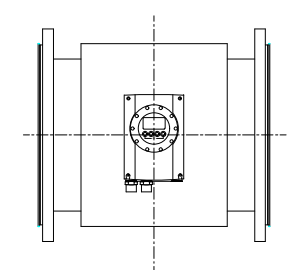


電磁流量計参考図

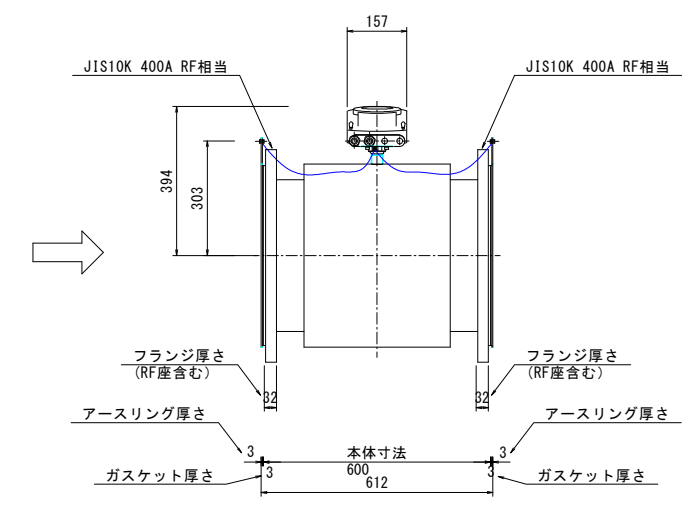
S=1:10

口径：400mm

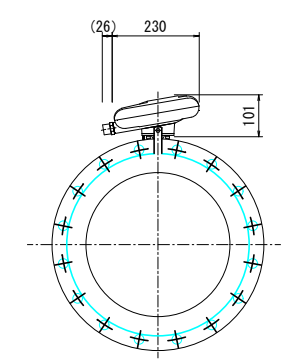
平面図



正面図

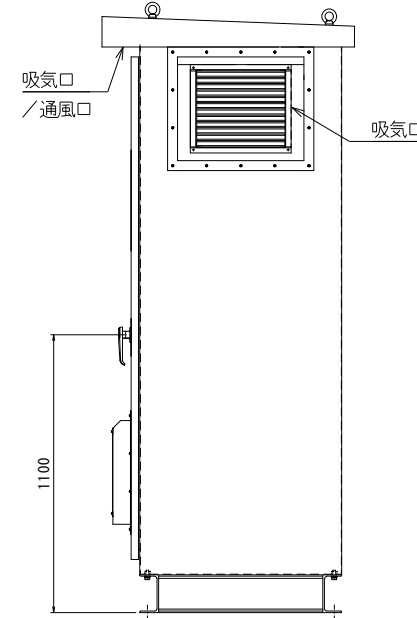
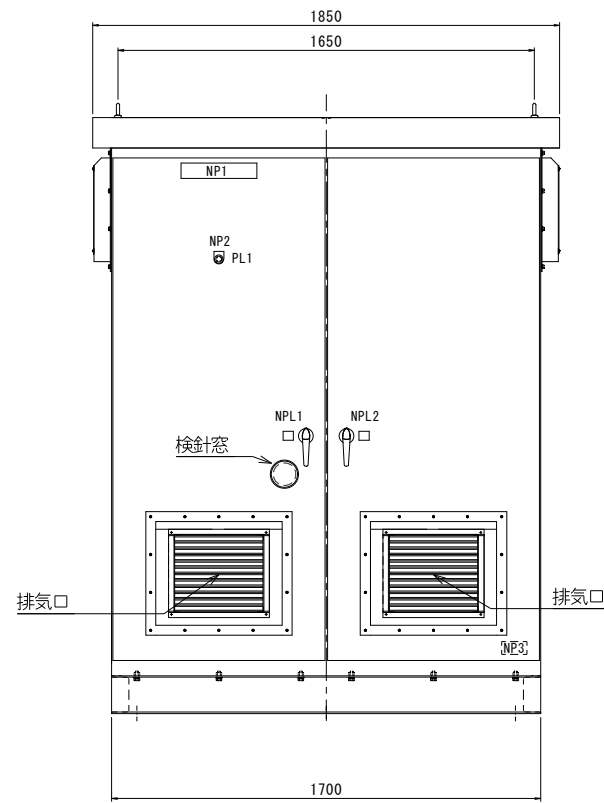
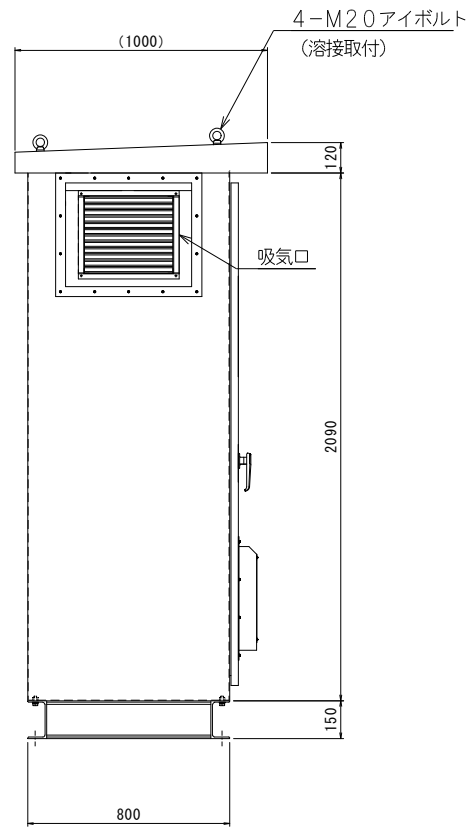


側面図



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	入口弁・排出弁 電動バタフライバルブ 電磁流量計(参考図)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/5, 10	図面番号	5 / 7
事業者名	大熊町		

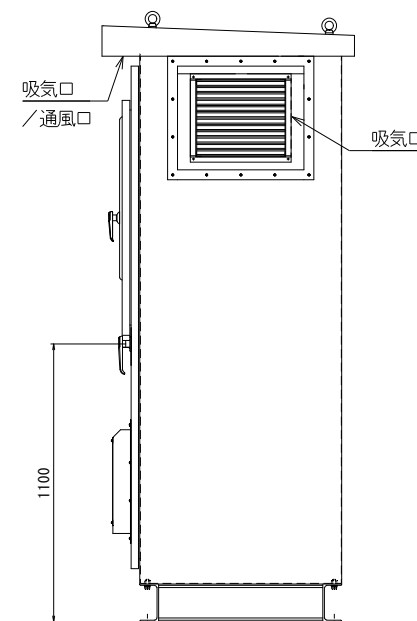
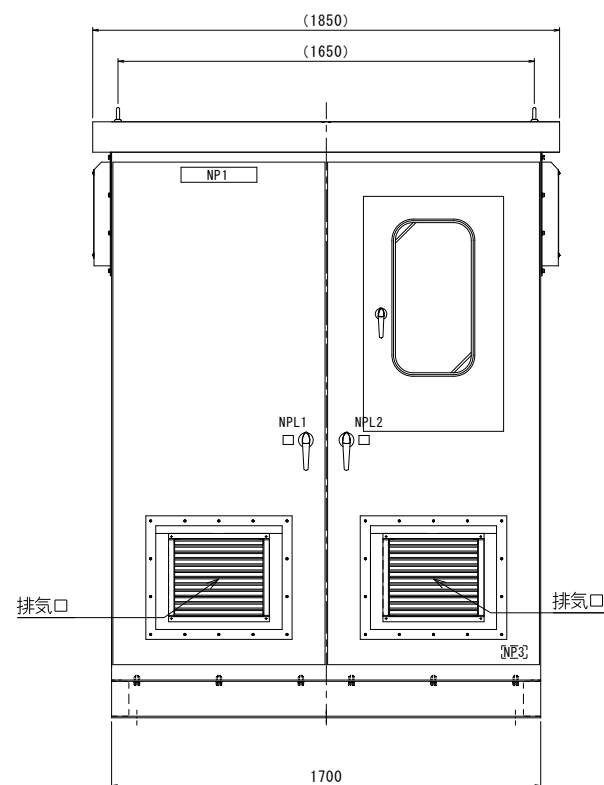
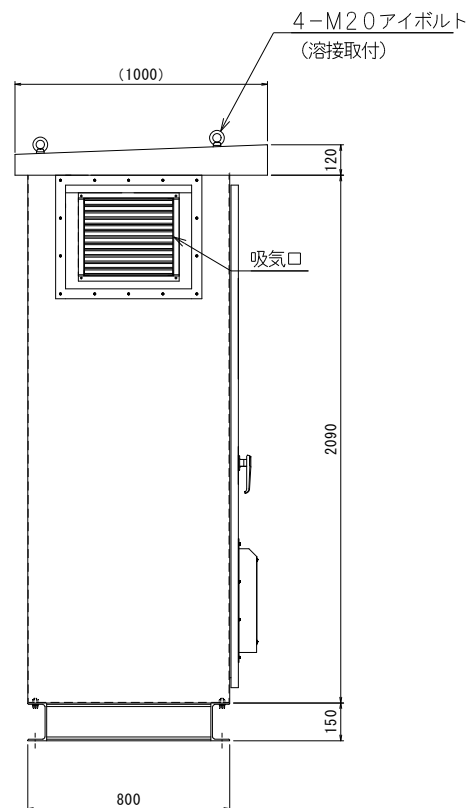
50kW系統連系盤



参考図

※ () は参考寸法とする

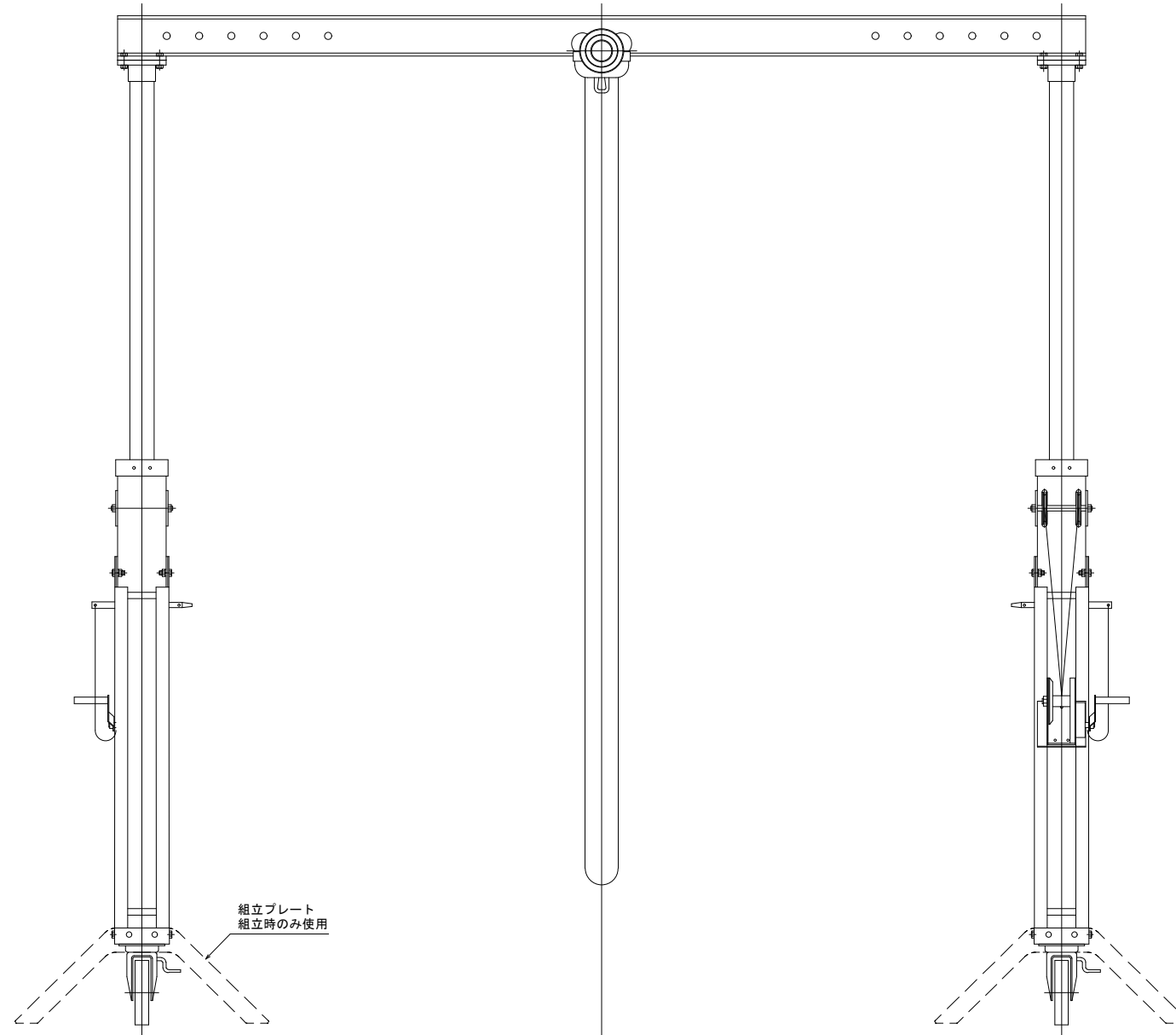
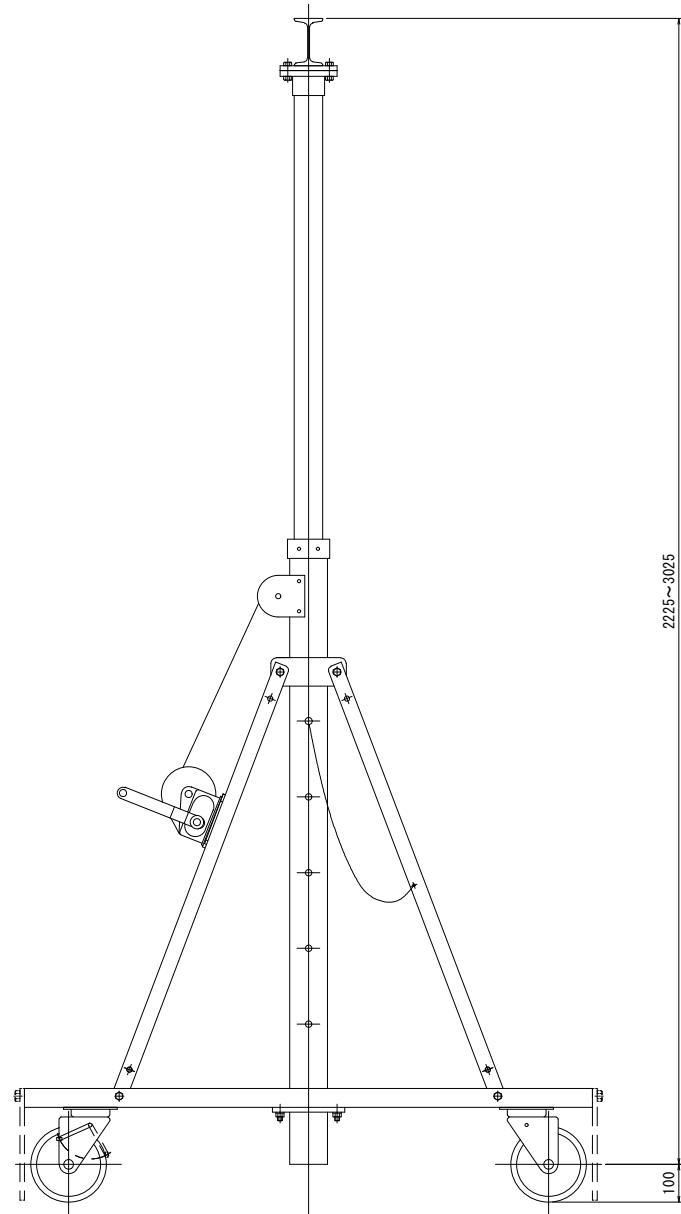
50kW発電機制御盤



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	電気盤外形図(参考図)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/15	図面番号	6 / 7
事業者名	大熊町		

門型クレーン S=1:10
1ton用 既製品

参考図



工事名	坂下ダム小水力発電設計業務		
図面名	門型クレーン 1ton用 (参考図)		
作成年月日	2024年 2月		
縮尺	1/10	図面番号	7 / 7
事業者名	大熊町		